

# 九州農政局管内の 国際水準GAPの取組事例

令和4年3月  
九州農政局

# も く じ

県名	所在地	番号	認証農場名	認証の種類	個別・団体の別	認証取得農産物
福岡県	上毛町	1	株式会社ユーアス	JGAP	個別	キャベツ
福岡県	古賀市	2	アグリ食品有限会社	JGAP	個別	かいわれだいこん
福岡県	小郡市	3	まぁちゃんファーム株式会社	JGAP	個別	こまつな
福岡県	大木町	4	JA福岡大城しめじ部会	JGAP	団体	ぶなしめじ
福岡県	八女市	5	JAふくおか八女かんきつ部会GAP研究会	JGAP	団体	みかん
福岡県	八女市	6	株式会社中村園	GLOBALG.A.P.	個別	茶・ハーブ
福岡県	八女市	7	有限会社角田製茶	JGAP	個別	茶
福岡県	豊前市	8	株式会社エフワイアグリ	GLOBALG.A.P.	個別	ベビーリーフ
福岡県	北九州市	9	エスジューグリーンハウス株式会社	ASIAGAP	個別	リーフレタス
福岡県	東峰村	10	農事組合法人宝珠山きのご生産組合	JGAP	個別	しいたけ
福岡県	筑紫野市	11	福岡県農業大学校	GLOBALG.A.P.	個別	いちご
福岡県	太宰府市	12	福岡県立福岡農業高校	GLOBALG.A.P.	個別	トマト
福岡県	糸島市	13	有限会社ウラタ農園	ASIAGAP	個別	みずな
福岡県	久留米市	14	みい農業協同組合小松菜部会	JGAP	団体	小松菜
佐賀県	唐津市	15	株式会社グッドリーフ	GLOBALG.A.P.	個別	サラダ野菜
佐賀県	唐津市	16	肥前原木しいたけ工房	JGAP	個別	しいたけ
佐賀県	唐津市	17	たにぐちファーム	JGAP	個別	トマト
佐賀県	唐津市	18	JAからつ唐津地区茶業部会	ASIAGAP	団体	緑茶・ウーロン茶
佐賀県	唐津市	19	株式会社Y.Kカンパニー <b>new</b>	JGAP	個別	水菜・ほうれんそう等
佐賀県	嬉野市	20	清水茶業組合	JGAP	団体	茶
佐賀県	伊万里市	21	JA伊万里GAP部会	JGAP	団体	米

# も く じ

県名	所在地	番号	認証農場名	認証の種類	個別・団体の別	認証取得農産物
長崎県	諫早市	22	愛菜ファーム株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	トマト
長崎県	諫早市	23	アリアケファーム株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	たまねぎ
長崎県	島原市	24	有限会社田中農園	JGAP	個別	ほうれんそう 等
長崎県	松浦市	25	JR九州ファーム株式会社（松浦事業所）	GLOBALG.A.P.	個別	アスパラガス 等
長崎県	雲仙市	26	栗原ねぎ	JGAP	個別	ねぎ
長崎県	雲仙市	27	生産組合 鷹博農園	JGAP	団体	レタス 等
熊本県	玉名市	28	坂上農園	GLOBALG.A.P.	個別	ミニトマト
熊本県	玉名市	29	玉名の米所八十八夜	GLOBALG.A.P.	個別	米
熊本県	玉名市	30	株式会社 鷹本農産 <b>new</b>	GLOBALG.A.P.	個別	ミニトマト
熊本県	西原村	31	こめだ農園	GLOBALG.A.P.	個別	にんじん
熊本県	小国町	32	株式会社下巢畑農産	JGAP	個別	だいこん・かんしょ
熊本県	八代市	33	立石農産	JGAP	個別	ミニトマト
熊本県	宇城市	34	JA熊本うき生姜専門部会G A P研究会	JGAP	団体	しょうが
熊本県	熊本市	35	有限会社土の文化ファーム	GLOBALG.A.P.	個別	ミニトマト
熊本県	熊本市	36	有限会社村川商店／有限会社熊本有機農産	ASIAGAP	個別	にんじん 等
熊本県	山鹿市	37	農事組合法人夢農塩	JGAP	個別	米
大分県	大分市	38	JAおおいたGAP研究会	JGAP	団体	かんきつ 等
大分県	豊後大野市	39	シセイ・アグリ株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	白ねぎ
大分県	豊後大野市	40	有限会社育菓産業	JGAP	個別	みつば
大分県	豊後大野市	41	農事組合法人芦刈農産	JGAP	個別	かんしょ
大分県	九重町	42	ここのえ安達農園	GLOBALG.A.P.	個別	ブルーベリー
大分県	宇佐市	43	久保さんちのお米株式会社	JGAP	個別	米
大分県	宇佐市	44	(株)安心院オーガニックファーム <b>new</b>	JGAP	個別	ベビーリーフ・シャンツァイ等

# も く じ

県名	所在地	番号	認証農場名	認証の種類	個別・団体の別	認証取得農産物
宮崎県	西都市	45	農家とダイレクト株式会社	GLOBALG.A.P.	個別	ピーマン
宮崎県	小林市	46	有限会社四位農園	GLOBALG.A.P.	個別	ほうれんそう 等
宮崎県	高鍋町	47	JA児湯ティーファクトリー	ASIAGAP	団体	緑茶
宮崎県	西都市	48	株式会社ジェイエイフーズみやざき	GLOBALG.A.P.	個別	ほうれんそう
宮崎県	宮崎市	49	川越製茶	JGAP	個別	緑茶
宮崎県	宮崎市	50	株式会社オーチャードイワマン	GLOBALG.A.P.	個別	マンゴー
宮崎県	宮崎市	51	長友みかん農園 <b>new</b>	GLOBALG.A.P.	個別	かんきつ(せとか)・きゅうり
宮崎県	新富町	52	合同会社オーガニックファームZERO <b>new</b>	ASIAGAP	個別	にんじん・ばれいしょ
鹿児島県	さつま町	53	有限会社熊田製茶	ASIAGAP	団体	緑茶
鹿児島県	薩摩川内市	54	有限会社松田農場	JGAP	個別	きんかん
鹿児島県	東串良町	55	株式会社ローソンファーム鹿児島	JGAP	個別	だいこん 等
鹿児島県	南九州市	56	農事組合法人菊永茶生産組合	ASIAGAP JGAP	個別	茶
鹿児島県	指宿市	57	大吉農園	ASIAGAP	個別	キャベツ 等
鹿児島県	屋久島町	58	有限会社ハラダ製茶農園	GLOBALG.A.P. ASIAGAP	個別	茶
鹿児島県	和泊町	59	株式会社皆村農園	GLOBALG.A.P.	個別	ばれいしょ
鹿児島県	西之表市	60	JA種子屋久西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会	JGAP	団体	かんしょ
鹿児島県	大崎町	61	有限会社大崎農園	GLOBALG.A.P.	個別	葉ねぎ 等
鹿児島県	大崎町	62	農業生産法人有限会社片平農産	JGAP	個別	だいこん
鹿児島県	大崎町	63	大崎町キャベツ出荷組合	JGAP	団体	キャベツ
鹿児島県	霧島市	64	ヘンタ製茶有限会社	ASIAGAP	個別	茶
鹿児島県	南大隅町	65	JAきもつきミニトマト部会	JGAP	団体	ミニトマト

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 株式会社 ユーアス

**JGAP**

キャベツ

## <基本情報>

所在地：福岡県築上郡上毛町

構成員18名：役員4名（うち外部役員1名）  
従業員14名（うち海外研修生3名）

## <農場概要>

栽培面積：キャベツ10ha

<経営の理念> 「全力農業！ 選ばれるモノづくり、自分づくり」



## <GAPの取得のきっかけ>

・組織も拡大し従業員も増え、新たなルール作りに取り組む必要を感じた。



**JGAP青果物2016**  
(2018年2月認証取得)

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆生産履歴等の管理

経営管理ソフトを活用し省力化を目指したが、個々のパソコンスキルの違いにより軌道に乗るまで時間を要した。

### ◆従業員の意識改革

繰り返し研修を行うことにより、従業員の意識改革を醸成。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆整理整頓や生産履歴等の管理でコスト削減

- ・段ボール、肥料、農薬等の生産資材の在庫管理を徹底することにより無駄な支出が減少。
- ・生産履歴の管理を徹底し、安定した生産を実現

### ◆従業員の意識の変化

生産に対する自信と意欲の向上。

### ◆会社の信用度がアップ

求人応募数が増加。



## <今後の課題>

### ◆意識の継続

- ・GAPは認証取得がゴールではない。リスクに対する意識を継続して持ち続けることが重要。
- ・ヒヤリハット事例を朝礼等で情報共有。

<問い合わせ先> **0979-72-1395**

<http://www.youasufarm.jp/>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# アグリ食品有限会社

**JGAP**

かいわれだいこん

＜基本情報＞ 所在地：福岡県古賀市  
構成員30名：役員5名+社員5名+パート20名  
〈農場概要〉  
栽培面積：かいわれだいこん 6.6a



商品パッケージ・製品ケース

交代勤務で  
GAP頑張っ  
ています！



GAPに取り組むメンバー

## ＜GAP取得のきっかけ＞

1996年～「かいわれ  
大根生産衛生管理マ  
ニュアル」による管理

自分達に合った  
衛生管理を充実  
したい。

JGAP青果物2010  
(2012年5月認証取得)

## ＜GAP認証取得で苦労したこと＞

### ◆ 認証審査までの準備

・かいわれ大根生産衛生管理マニュアルを、該当するJGAPの項目にあてはめる作業に時間を要した。

### ◆ 管理チェック項目の増加・記録項目の増加による帳票管理、担当者の教育

### ◆ 管理作業手順の統一

→ 写真入り栽培管理マニュアルの作成



整理整頓された施設

## ＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

### ◆ クレームへの対応

・生産工程表の作成により、異物混入等の問い合わせに対し、迅速で確実な対応が可能となり、相手先からも、より信頼を得られるようになった。

### ◆ 品質が一定化

・栽培管理マニュアルに沿った作業を行うことで、作業者による品質のばらつきがなくなった。

### ◆ 従業員の意識向上

・目につく場所にチェック項目リストを掲示することにより、自然に従業員の意識が変化し、作業場の雰囲気よくなった。



見取図・チェック表

## ＜今後の意向＞

### ◆ GLOBAL G.A.P.の取得

・取引先の親会社GFSIのメンバーであることから、GFSIに承認されているGLOBAL G.A.P.をいずれ取得したい。

## ＜問い合わせ先＞

092-943-7349

## 👉 G A P の取組 (個別認証)

# まあちゃんファーム株式会社

JGAP

こまつな

### <基本情報>

所在地：福岡県小郡市

構成員 8 名：ご夫婦 + 社員 1 名 + パート 1 名 + 実習生 4 名

<農場概要>

栽培面積：こまつな 1.5ha (年 6 作)

<経営の理念>

「安全で安心できる作物を第一に考え、こまつなの本当のおいしさを提供できる農園づくり」

一緒に働く仲間に  
笑顔のある農園！



問い合わせ先はこちら↓↓↓

携帯:090-8418-7518、URL:<http://www.mfc11831.jp/>

### <G A P の取得のきっかけ>

- ・安全・安心で本当のおいしさを追求
- ・普及指導センターからの勧め



J G A P 青果物 2010  
(2012年 9 月 認証取得)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ■ 関係書類の作成

G A P 認証の申請当時は、関係書類のひな形がなく、一つ一つの項目を考えるのに相当時間を要した。

#### ■ 片付け・配置

- ・まずは不要な物を捨てること。
- ・安全・衛生面を考慮した動線の確保。

#### ■ 意識の改革

- ・意識改革には 5 年を要した。
- ・「食品を扱っている」という意識づくり。
- ・G A P 認証を取得して終わりではない。
- ・作業効率よりも、安全・衛生面を優先させる。



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 取引先の増加  
⇒取引先との信頼関係が深まった。
- 生産履歴・作業履歴の記帳  
⇒より安定した生産。
- 整理整頓・忘れ物や 2 度買いの減少  
⇒コスト削減。
- 従業員とのコミュニケーション  
⇒食事会等を行うことで意思疎通が深められた。
- 普及指導員や農政局とのつながり  
⇒最新情報の取得。



消費者様の笑顔を想像しながら  
ガンバル農園づくりを続けます！

👉 **GAPの取組**  
**(団体認証)**

# J A 福岡大城しめじ部会

🗨️ **構成員**

**JGAP**

ぶなしめじ

## ＜基本情報＞

所在地：福岡県三潴郡大木町

構成員：9事業所

＜農場概要＞

栽培品目：ぶなしめじ

＜経営方針＞

「信頼される農場づくり」



安心・安全な  
しめじ生産に  
取組んでいます。

- ・農事組合法人 きのこの里
- ・農事組合法人 ふる里の森
- ・農事組合法人 秋香園
- ・農事組合法人 ドリームマッシュ
- ・有限会社 きのご秋萌
- ・農事組合法人 きのご工房
- ・農事組合法人 豊地の郷
- ・農事組合法人 マッシュキティ
- ・農事組合法人 モアハウス

## ＜GAPの取得のきっかけ＞

- ・ブランディング
- ・取引先との信頼関係



**JGAP青果物2016**  
(2017年12月認証取得)

## ＜GAP認証で苦労や改善されたこと＞

### ◆関係書類の作成(個別認証→団体認証)

GAP認証の申請について、今まで各生産法人で必要な書類を作成し申請を行っていたため、相当時間を要していた。



### ◆意識の改革

無意識に行っている作業を可視化することで、自分たちの生産作業を見直すことができ、従業員に意識付けできるようになった。



## ＜GAP認証取得による効果＞

- ◆整理整頓の徹底
  - ⇒バイヤー等の見学者受入れ
  - ⇒異物混入の不安が軽減
  - ⇒安全面でのPR
- ◆団体認証を受けたことにより
  - ⇒部会内での切磋琢磨
  - ⇒部会内での品質に対する意識の共有
  - ⇒品質の向上



**自信を持って販売できる**

自信を持って  
商談できました



Food EXPO Kyushu2018に出店

## ＜問い合わせ先＞

J A 福岡大城 営農経済部 直販課 0944-32-1346

### 👉 G A Pの取組 (団体認証)

## JAふくおか八女かんきつ部会GAP研究会

〈問い合わせ先〉 J Aふくおか八女 園芸指導部 園芸指導課 0943-23-1163

JGAP

みかん

### ＜基本情報＞

所在地：福岡県八女市

構成員：13名

＜農場概要＞

栽培面積：**みかん** 42ha（内訳：極早生15.5ha、早生10.3ha、普通15.1ha、中晩かん1.1ha）

＜経営の理念＞

「安全・安心・甘い八女**みかん**を消費者に届けよう」

JGAP団体認証取得申請メンバー！  
(撮影時に4人のメンバーが不在でした。)



### ＜G A Pの取得のきっかけ＞

取引先の量販店からの取得依頼



JGAP青果物2010  
2016年 認証取得

### ＜GAP認証取得で苦労したこと＞

#### ■生産履歴の管理

JGAPの団体認証を青年部で申請しており、**農薬保管や倉庫内の整理整頓**について**父親との認識違い**。（要、不要の線引き）

#### ■労働環境の整備（ハード面の設置に係る導入経費等）

**安全性を確保するための、資材導入や**  
証明書の確保に関わる**経費増大**。

#### ■リスク評価（食品安全、農作業安全等）

各農場におけるリスク評価において、各構成員が自覚しているものの、それを**文書化することに慣れていない**。



農薬の保管状況のチェック

### ＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

#### ■取引先の信頼確保

⇒**今まで以上に産地としての信頼確保**

⇒**より安定した生産・販売数量**

#### ■従業員の意識の変化

⇒**経営者としての自覚の向上**

⇒**安全な農産物の生産**

#### ■労働環境の整備

⇒**農作業事故防止の意識向上**



安全・安心・甘い八女みかんを消費者の皆さんへお届けします。



G A P 研究会  
持丸会長

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 株式会社 中村園

GLOBALG.A.P.

茶・ハーブ

## <基本情報>

所在地：福岡県八女市

構成員：5名（繁忙期に臨時雇用が若干名）

栽培面積（認証取得面積）：茶圃場 9.8ha（6.4ha）

ハーブ圃場 62a（50a）



## 【経営理念】

「良質な食品を増やすことで、豊かで健康的な食生活を実現する」

## <GAPの取得のきっかけ>

- ・農産物を生産する者として**必然性**
- ・地域の担い手として、率先して取り組む**必要性**



**GLOBALG.A.P.**  
(2018年2月茶認証取得)  
(2018年12月ハーブ認証取得)

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆生産履歴の管理

- ・要求される項目と日常の栽培作業の各項目との洗い出し。
- ・現場で使いやすい記録様式の作成。

### ◆労働環境に対する意識

- ・手の消毒、防除時のマスク着用等のルール作成。
- ・ルールの必要性を作業員へ適切に理解させる。

### ◆リスク評価

- ・傾斜度や栽培環境の適切なリスク管理内容の把握。
- ・把握した内容をリスク評価し、作業員全員に理解させる。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆取引先とのつながり

⇒GAP認証取得が自負となり、バイヤーや製造メーカーと真摯に交渉ができ取引に繋がったことで、規模を拡大。

### ◆適切な労務管理

⇒日々作成した作業記録のデータを活用することで、作業効率が向上。

### ◆情報共有の重要性

⇒朝礼や全体会議による情報共有により、作業員の意識改革や安全意識を確立。

### ◆管理作業の正確さ

⇒クレーム対応等の訓練を繰り返し行ったことで、重要なリスクが把握でき、農作業の正確さが向上。



問い合わせ先はこちら⇒TEL:0943-24-9099、FAX:0943-23-2105

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# (有) 角田製茶

OKUYAME KAKUDA SEICHA  
角田製茶

JGAP

茶

## <基本情報>

所在地：福岡県八女市上陽町北川内187-3  
構成員：6名（役員3名、従業員3名）  
栽培面積：12ha

## 【経営理念】

栽培から最後の仕上げまで丁寧に自園自製で製造し、いち早くJGAP認定茶農場として、安全・安心・高品質なお茶作り。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

## <GAP認証取得のきっかけ>

- 福岡県主催の学習会で、**これからはGAPが必要になる**ことを知り、**誰よりも早く認証取得**したい。
- 先代からの経営譲渡をきっかけに、生産工程の管理手法を確立したい（従業員の指導にも役立つ）。
- 商談時の交渉手段の一つ**となると確信。

JGAP認証取得 ⇒ 平成22年2月

- 農場の整理整頓**ができ、安全・安心の農場管理ができた。
- 製品のランクに関係なく、GAPの取組が徹底できている。
- 取引先から何を求められているか分かるようになった。
- 取引先からの信用が高まり**契約販売による、一定量の取引が確保されている。
- できていなかった商談交渉の土俵に上られるようになった。



## 【今後の意向】

- 旨味の強いお茶の価値を国内外に認めて貰い販路拡大を図る。
- 海外への販路拡大に応じGLOBALG.A.P認証取得を検討。

## <問合せ先>

TEL 0943-54-3751、FAX : 0943-54-3758  
<http://www.kakudaseicha.com>

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 10年前**の認証取得時は、参考になる**資料がなく管理帳簿などを独自で作成**。
- リスク管理の対応策の洗い出し。
- 摘採機や荒茶・製茶**機械操作マニュアルの作成・掲示**。
- 労災などの労務管理に伴う資格取得。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 株式会社エフワイアグリ

GLOBALG.A.P.

ベビーリーフ

## <基本情報>

所在地：福岡県豊前市荒尾464  
 構成員：27名（うち役員3名）  
 栽培面積：ベビーリーフ400a（ハウス82棟）、露地野菜150a  
 農産物の生産、加工、販売  
 【経営理念】「未来にあたらしい種をまく！」



## <GAPの取得のきっかけ>

・取引先からの要請に加え、最先端の農業経営を目指して、会社創設当初からGAP認証取得を見据えることで、社員の意識教育にも繋がると考えた。



2019年4月 GLOBALG.A.P. 認証取得

## <GAP認証取得への取組>

鰻の加工業から農業分野への参入であり、GAPの管理点は食品加工事業者としてHACCPに沿った衛生管理の経験があったため、抵抗なく取り組むことが出来た。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆従業員の意識向上

・創設当初から事業展開としてGAP認証取得を掲げたことにより、GAPをすることがスタンダードだという社員の意識付けができた。

### ◆安全安心の担保

・各作業工程のルールによる農作業事故の未然防止効果や衛生管理の徹底による安全安心な農産物生産への意識向上

### ◆コスト削減

・整理整頓を行うことで、物品管理が容易になり資材等の計画的な発注に繋がっている。



今後も継続して取り組むことで、信頼構築を図り収益向上を目指す。

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# エスジーグリーンハウス株式会社

ASIAGAP

リーフレタ  
ス

## <基本情報>

所在地：福岡県北九州市若松区

構成員：128名（正社員14名、パート114名）

栽培面積：リーフレタス、ケール 2ha（ハウス4棟）

ハウスによる水耕栽培、人工光型植物工場及び太陽光併用型植物工場

【経営理念】「食の安全・安心を提供し、人を良く育もう」



## <GAPの取得のきっかけ>

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたGAP認知度の高まりにより、優位に販売できると判断。
- ・輸出に際し、有利に契約するため。

2018年7月 ASIAGAP認証取得

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆ 従業員の意識向上

- ・従業員のリスク管理の意識が向上し、特に衛生管理が徹底された。

### ◆ コスト管理の徹底

- ・安価な深夜電力の有効活用を行う。
- ・水耕栽培に必要な養液を循環させる。

### ◆ 商品や会社に対する信頼性の向上

- ・商談時にPRでき、取引先の信頼確保に繋がった。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 管理すべきチェックポイントの把握と従業員の意識改善
- ◆ 取得に必要な資料の作成

GAPの管理点に沿った資料の整理に苦労。

⇒コンサルタントからの指導により克服



【今後の展開】  
HACCPの認証  
取得を目指す！



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農事組合法人 宝珠山きのこ生産組合

JGAP

しいたけ

## <基本情報>

所在地：福岡県朝倉郡東峰村

構成員：13名（役員5名+パート（通年雇用）8名）

栽培面積：しいたけ 540㎡、年間生産（出荷）数量：80t

### 【経営理念】

「人の命を支えるため、「安心・安全・美味しい」が揃ったものづくりに励みたい！」

組合のGAP担当、川村倫子です。

お母さん方に働きやすい  
農場を目指しています！



## <GAPの取得のきっかけ>

消費者にとって、安心して購入できる農場でありたいとの思いから。

JGAP 青果物2016  
(2018年7月認証取得)

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ■ 片付け・配置

- ・作業効率を考慮した整理整頓。
- ・安全・衛生面を考慮した配置。

### ■ 意識の改革

- ・「安心して購入して頂く」という意識づくり。
- ・作業効率の重視よりも、安全・衛生面を優先させる。

### ■ 災害による認証取得の延期

平成29年7月の九州北部豪雨により自宅及び施設の一部が被害を受けたことで認証取得が先延ばしとなったが、組合員一丸となって対応した。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ■ 整理整頓で安全性確保

⇒使用するハサミの保管箱を作り、食品・労働安全の確保。

### ■ みんなの議論で改革を

⇒「なぜ、どうしてもやらなくちゃいけないの？」を「こういう風にやろう！」へ意識改革により、安全意識の向上。

### ■ 職場環境の変化

⇒見学者の増加により、整理整頓の習慣の徹底と作業工程の再点検。

### ■ 取引先とのつながり

⇒バイヤーの反応が良くなり、販路開拓への可能性が拡大。



問い合わせ先はこちら

⇒<https://kinokokumiai.or.jp/company/>

👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 福岡県農業大学校

GLOBALG.A.P.

いちご

### <基本情報>

所在地：福岡県筑紫野市大字吉木767番地  
全校学生：87名（うち野菜コース イチゴ班13名）  
栽培面積：いちご（あまおう）7a



【教育理念】「**科学的かつ経営的視点に立って、農業技術はもとより、農業経営や流通販売等の総合的な学習を行い、学生の潜在能力を引き出す**」

### <GAPの取得のきっかけ>

・将来の農業を見据えたカリキュラムの取組みにより、学生の意欲を高め、地域を牽引する人材育成を図る。

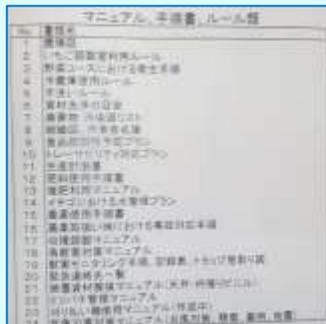


**GLOBALG.A.P.**  
(2019年3月認証取得)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆リスク評価（食品安全・環境整備等）

- ・危険場所や危険な物を排除するためのリスクの洗い出し。
- ・学生が対応策を検討し、手順書やマニュアルの作成、管理体制を構築すること。
- ・日々の作業記録作成の習慣化に時間を要した。
- ・倉庫の整備・改修が必要となった。



#### ◆学生の意識付け

- ・GAPの取り組みへの学生のモチベーション維持。

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆リスク管理の徹底

- ・リスクを共有でき、**作業の効率化と安全な作業**が可能となった。
- ・圃場や施設の清掃、整理整頓の取り組みが、イチゴ班から**野菜コース全体に浸透**した。

#### ◆学生の意識の変化

- ・学生が主体的に取り組んだことで、**自信と意欲が向上する**など、**学生の意識改革につながった**。

### <今後の課題>

#### ◆校内でGAPの普及

- ・イチゴ以外のコースで「**県GAP**」にチャレンジ。

#### ◆意識の継続

- ・日々の取組の中で改善点を見つけて、ルールやマニュアルを作成し、さらに**レベルアップ**を目指していく。

<問い合わせ先> 092-925-9129 <http://fuknodai.jp/>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 福岡県立福岡農業高等学校

GLOBALG.A.P.

トマト

## <基本情報>

所在地：福岡県太宰府市大佐野250

全校生徒：459名（GAP取組：都市園芸科選抜メンバー6名）

栽培面積：トマト（品種：CF桃太郎ファイト）

1a（認証取得済）→2.4a（認証更新予定）

【教育理念】校訓「土を耕し、心を耕し、未来を耕す」に基づいた学校経営を行う。

土を耕すとは知（学力、学習意欲）、心を耕すとは徳（人格、道徳心）、未来を

耕すとは夢（自己実現）のことであり、本校の教育理念とする。



## <GAPの取得のきっかけ>

文部科学省のスーパープロフェッショナルハイスクール事業の指定（H26～30）、福岡県教育委員会よりGAPモデル校の指定を受け課題研究に取組（H30）

→ GLOBALG.A.P.  
(2019年3月認証取得)

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆意識改革・関係書類の作成・環境整備等

- ・生徒、職員の意識改革とモチベーションの維持。
- ・指導者側の知識不足を補うための指導者研修。
- ・認証取得には民間コンサルタントの指導が必要だった。
- ・圃場・選果場の整理・整頓と改善・整備に時間を要した。
- ・認証に向けての資料等の作成。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆意識の変化・教育環境の整備

- ・実習前後の手洗いの徹底。
- ・日常の買い物で食の安全を意識。
- ・生徒自ら労働安全を意識し独自に改善。
- ・施設設備、選果場等の整理整頓による作業効率向上。
- ・GAP取組継続により大きな教育効果が期待。
- ・認証取得1年目であるが、年数を重ねることで前例より改善・改良がより進むと期待。



## <今後の取組>

- ◆トマトの栽培面積拡大と栽培（収穫）期間延長
- ◆校内および福岡県内農業高校への取組発信と視察指導者育成研修受け入れ

<問い合わせ先> 092-924-5031 <http://fukuoka-agr.fku.ed.jp/>

## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# 有限会社 ウラタ農園

ASIAGAP

みずな

### <基本情報>

所在地：福岡県糸島市志摩小富士2406

構成員：23名

(役員1名、正社員2名、パート15名、外国人研修生5名)

栽培面積：みずな 2.2ha (ハウス70棟) ハウスによる周年栽培

【経営理念】「農明」農業で明るく

(農業を通じて、①安心安全な商品を提供することで消費者が健康で明るく

②従業員への物心を明るく ③地域を明るく)

ASIAGAP指導員  
になりました。



代表の  
浦田氏

### <GAPの取得のきっかけ>

「経営管理」、「従業員の  
意識向上」を目指して



ASIAGAP  
(2018年4月認証取得)

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆従業員の意識向上

・従業員一人一人の責任の明確化、リスク管理の意識向上。

#### ◆経営者としての自覚

・経営者としての全体管理の見える化が少しずつ改善。

#### ◆商品や会社に対する信頼性の向上

・商談時に商品の特徴をPRできた。

・今後、更に認知度が向上することで、商談相手の反応も良くなることを期待。

### <GAP認証取得で苦労したこと>

◆資料作成、資料整理、整理整頓、土壌分析、水質検査  
農薬検査等やるべき事務量が膨大。

◆圃場や作業場の改修 (お金をかけず工夫でクリア)。

◆外国人研修者でも対応できるよう写真やイラストで手順  
書を作成。

◆従業員へGAPの意識付け (時間をかけて理解させ浸透を  
図った)。

◆朝礼時に職場全員  
への目配り  
及び確認。



### <今後の取組>

◆外国人労働者の確保。

◆ASIAGAP認証農場ロゴマークの使用禁止に伴い、今後は  
「ウラタ農園」の認知度を広げる戦略へ変更。

◆販路拡大のため輸出へ取組む。

◆若手農家の人材育成を通して地域に貢献。



<問い合わせ先> 092-328-0155 E-mail:urata@fukuoka.email.ne.jp

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# みい農業協同組合 小松菜部会

JGAP

小松菜

## <基本情報>

所在地：福岡県久留米市北野町十郎丸3-4（園芸流通センター 小松菜部会）

構成員：16戸

栽培面積：35ha

### 【経営理念】

新しいことをチャレンジ

経営者としてのリスク管理（適正な人材管理・在庫管理などから導入）



## <GAP認証取得のきっかけ>

○GAP認証農産物を求める**市場ニーズ**に対応し、**販路拡大**を狙う。

○認証を取得し、**他の小松菜産地との差別化**を図る。

○**生産者**のリスク管理等への**意識改革**を目指す。

JGAP認証取得 ⇒ 平成27年6月

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○整理整頓が徹底されるようになった。

○作業管理ソフトにより作業記録のデータ管理が容易になった。

○国際水準GAP認証ありきの食品加工業者との契約ができるようになった。

○農業者や従業員の**労働安全への意識が向上した**。

○**データ管理**により、**迅速なトレサビリティが可能**となった。

### 「今後の意向」

○輸出は国際情勢で大きく影響するため、国内販売のみに重きを置き、国内での消費拡大を目指す。



## <GAP認証取得で苦労したこと>

○部会員（全農場）の**意思統一や意識改革**

○農作業・資材管理等の運用マニュアルの作成

○**雇用者へのデータ管理の徹底**

○記憶・経験の記録化

○帳簿等の**書類作成**（他県への研修を実施）

○**外国人労働者への教育**



### <問合せ先>

TEL: 0942-23-1710、FAX: 0942-23-1715

<http://www.ja-mii.com>

👉 **G A Pの取組**  
**(個別認証)**

# 株式会社 グッドリーフ

**GLOBALG.A.P.**

サラダ野菜

## <基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

【経営概要】 役員2名・従業員 11名(うち外国人技能実習生(女性)1名)

【農場概要】 栽培面積：48 a (リーフレタス等サラダ野菜の周年出荷)

パートナー農場：3園 95 a

[(株)エバーグリーン、(株)サンファーム、ライフグリーン]

【経営理念】 「人の健康と地球環境に配慮したおいしい野菜の提供」



## <G A Pの取得のきっかけ>

◆ 民間就業体験から、農業経営改善にもGAPが必要不可欠との経営判断



2007年 J G A P 取得  
J G A P 認証佐賀県第1号

2014年  
GLOBALG.A.P.取得

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆ 従業員の意識・品質の向上

クレーム対応を作業手順書に明記するとともに、クレーム処理のシミュレーションを会社全体で年1回実施することで、**従業員の意識向上、商品の品質向上**に寄与。

### ◆ 受注量の増大

GAPに沿った農場運営が大手量販店Nストア等に評価され、**受注量が拡大**。

### ◆ 生産工程の見える化による作業効率化と適正な在庫管理

経験と勘に頼る作業管理から作業手順をマニュアル化し、責任者の配置、毎日の作業の記帳を徹底することで、**作業の効率化、適正な在庫管理**を実現。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 作業手順のマニュアル化と従業員への指導・徹底  
作業手順をマニュアル化し、全従業員へ意識付け。  
パートナー農場への波及(3農場もJGAP取得)。

◆ 生産システムの開発と履歴の管理  
自社独自の生産システムを開発。作業責任者にはタブレット端末を付与し、データによる作業管理を徹底。



グッドリーフ農場ルール  
2011年12月16日策定  
2013年11月1日改定

#### 生物学的危害

- 1 作業前には石鹸を使い、手洗いをする。
- 2 トイレの後には手洗いをする。
- 3 手、指にケガがある時はゴム手袋を必ず着用する。
- 4 作業時は帽子、エプロンを着用する。
- 5 カゼ、伝染病、の人は作業には参加しない。
- 6 農薬、肥料を扱った後で調整作業はしない。
- 7 コンテナ、はさみは使用後洗浄、殺菌をする。
- 8 農場内のゴミは特定の場所へ管理する。
- 9 作業室は作業後必ず清掃する。
- 10 植物残渣は毎日特定の場所に廃棄する。

#### 化学的危険

- 1 農薬散布、肥料混合後はすぐに片付け、手洗い、着替えなど行う。
- 2 調整室内には農薬、肥料を保管しない。
- 3 収穫車を収穫以外の事に使用した場合は必ず洗浄する。
- 4 農産物搬送の場合は専用のコンテナを使用する。
- 5 秤、はさみ、などは他の目的に使用しない。

#### 物理的危険

- 1 農場内では喫煙はしない。所定の場所で喫煙する。
- 2 作業時には安全靴は必ず着用する。
- 3 農場内では飲食しない。

👉 **G A Pの取組**  
**(個別認証)**

# 肥前原木しいたけ工房 (中山 茂廣)

<b>JGAP</b>
しいたけ

## <基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

〈経営概要〉 家族経営 + 農福連携 (就労継続支援 B 型事業所)

〈農場概要〉 所属農場：1 農場

栽培規模：原木30,000本(年間生産量約2トン)

生産商標：山鮑 (やまあわび：大型しいたけ)

〈経営理念〉 「持続可能な環境保全型農業を通じた社会貢献」



## <G A Pの取得のきっかけ>

◆農商工連携のパートナー  
会社と東京オリパラへの食  
材提供を目指す



**2017年 JGAP認証**  
日本能率協会によるJ G A P 認証

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆労働環境の整備 (ハード面の導入経費等)

- ・乾燥施設の改修、燃料タンクの集約と屋外設置。
- ・作業施設の整理・整頓、林業資材との区分。

### ◆G A P 基準に沿った作業工程の就労者への指導

- ・スタッフ(事業所職員)へ作業に当たっての手順や決め事を習熟してもらい、就労者へ徹底。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

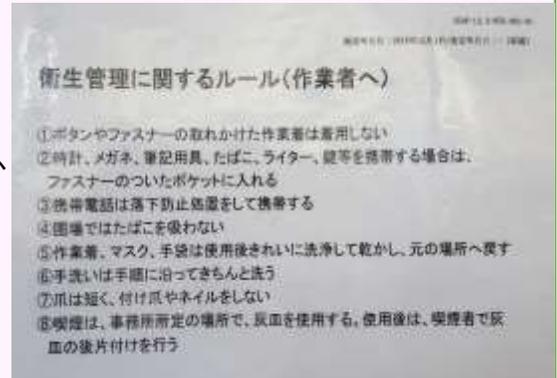
### ◆自身の栽培・作業管理意識の向上

- ・原木栽培にこだわり栽培を続けているが、G A P 基準に沿った栽培、乾燥工程を取り入れたことにより、**自身や作業員の安全確保、安心・安全なしいたけ生産への意識の向上と商品への自信。**

## <今後の目標>

### ◆東京オリパラへの食材採用、輸出

- ・パートナー会社と連携し、**東京オリパラへの食材提供**を目指す。食材として採用されれば、県内の同業者への波及を図り、安定した生産体制をつくり**輸出も検討。**



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# たにぐちファーム

TANIGUCHI FARM  
RICOTOMATO  
SAGA

JGAP

トマト

## <基本情報>

所在地：佐賀県鹿島市納富分1780

構成員：3名（夫婦2名、パート1名）

栽培面積：トマト 20a（カラフルミニトマト6種、大玉1種）

（カラフルミニトマトは、ぼかし肥料をベースに、栽培期間中は有機物100%の肥料を使用。）

## 【経営理念】

トマトの美味しさや安全・安心にこだわり、手間ひま惜しまず徹底した管理のもと、ひとつひとつ愛情込めて育てる。子供の安全を考えた生産を行う。

『当ファームのブランド名“RICOTOMATO”（リコトマト）は、トマトが苦手な子供から大人までRICOTOMATOの“とりこ”になってほしいという気持ちを込めています。』



## <GAP認証取得のきっかけ>

○**子供の誕生**により、安全・安心な食品を提供したいという思いから、**安全・安心な農場であることを証明するため、国際水準GAPであるJGAP認証を取得。**

⇒ **令和2年4月JGAP認証を取得**

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 徹底した農場管理を行うことで、**安全・安心の農場**であることが**証明できる**。
- ホテルやスーパーとの**取引のきっかけ**となり、**販路拡大**に繋がった。
- 整理整頓が格段に改善され**農作業事故などのリスクが分かる**ようになった。

## 「今後の意向」

- ・ **契約取引による販路拡大**
- ・ **自慢のトマト**を出身地（大阪）に届け、**“とりこ”にする**。
- ・ 子供達の農業体験の場を設けたい。

## <問合せ先>

TEL：080-6476-6834

<https://www.taniguchifarm.jp/>

## <GAP認証取得で苦労したこと>

○JGAP認証取得に係る膨大な資料作成

○リスク評価の項目が多く、生産から出荷の工程において、普段気がつかないリスクを洗い出し対応策を考え実践すること。



👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# J Aからつ唐津地区茶業部会

ASIAGAP

緑茶(生葉、荒茶)  
ウーロン茶(生葉、荒茶)

## <基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

構成員：組合員 26名

栽培面積：75ha

品目：茶 生葉1,160t 荒茶250t

【経営理念】身近なお茶のことをもっとよく知ってもらい、  
『唐津茶』を日本一の銘茶に育てたい。



## <GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望 ⇒平成25年7月 JGAP取得  
⇒平成30年11月 ASIAGAP取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆ 部会員の取組意識の醸成

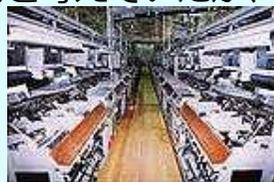
- ・ JGAP取得の際、現状の茶価が維持できないばかりか、取引先も振り向いてくれないのではないかと危機感があり、部会長が部会員を説得し、部会全員が取得

### ◆ 環境整備 (ハード面の設置にかかる導入経費)

### ◆ ASIAGAP規則に対する理解

- ・ JGAPの経験があり、移行は容易と考えていたが、用語等難しい部分があった。

⇒ ASIAGAP指導員の  
差分研修を受講



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ■ 販売単価の維持

- ・ 茶の価格が低迷する中、GAP認証を取得したことにより、市況を上回る単価を維持。更新費用に充てることができた。

### ■ 生産履歴の把握

- ・ 部会全員が取り組んだことにより、全員の生産履歴が把握でき、トレーサビリティが容易に。

### ■ 部会員の意識向上

- ・ 「整理整頓ができた」
- ・ 「在庫管理がしやすくなった」
- ・ 「自分が生産した茶葉に自信が持てる」



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 株式会社Y. Kカンパニー

JGAP

水菜・ほうれんそう  
小松菜・たまねぎ

## <基本情報>

所在地：佐賀県唐津市浜玉町  
構成員：役員及び正社員3名、パート12名、海外研修生2名  
栽培面積：16ha（内、ハウス2.5ha（100棟））



## 【経営理念】

私たちは、笑顔を耕していく企業を目指しております。

## <GAP認証取得のきっかけ>

○東京オリ・パラに食材提供することを目的に、GAP認証を取得した。

また、オリ・パラ終了後も、「安全・安心のものさし」として、GAPは重要であると考え、引き続き取り組んでいる。



JGAP認証取得 ⇒ 2016年10月

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 審査関係の書類作り。
- 栽培管理に関する帳票作り。
- パート従業員へのGAPの考え方を教えること。

〈問合せ先〉 TEL 0955-56-6966  
HP <http://ykcompany.co.jp/>

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○GAPの考え方に基づく、ハウス100棟の栽培記録をデータ化することで、品質の良い野菜を安定的に生産し実需者との契約販売に繋がっている。

○パート従業員の各個人の意識が向上し、現在では、肥料担当、農薬担当など役割分担が出来上がり、作業効率の向上に繋がっている。

○GAPを通じた、県内外の生産者との現地視察等の交流を行い、同じ意識を持つ仲間が増えた。



## <今後の意向>

○現在の生産面積の収量を上げて、その後、規模拡大を計画的に行い、地域農業に貢献して行きたい。

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# しみず 清水茶業組合

JGAP

茶

## <基本情報>

所在地 佐賀県嬉野市

TEL(茶工場): 0954-43-2614

<経営概要> 組合員 17名

<農場概要> 所属農場: 18農場 (組合員17農場、組合所有 1 農場)

栽培面積: 33ha (成園31ha)

栽培品種: ヤブキタ、オクミドリ、オクユタカ、サエミドリ

<経営理念> 「地域の気象特性を活かし、消費者へ安心・安全なお茶として認められる産地づくり」



## <GAPの取得のきっかけ>

◆取引先の大手中飲料メーカー  
K社からの要請



2015年 JGAP団体認証  
インターテックによるJGAP認証

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆整理整頓による作業効率化や在庫管理でコスト削減

- ・組合員の農業倉庫や加工施設で整理整頓が徹底され、**農作業準備、後片付け等の時間短縮**、また、加工工程での**作業効率も向上**。
- ・農薬、肥料等資材の在庫管理で**無駄な支出が減少**。
- ・異物混入や残留農薬へのリスク対応研修により、**製品(荒茶)の品質向上**。

### ◆茶園での農作業の安全管理点の見える化

- ・農作業における注意事項を茶園単位で掲示したことにより、組合員の**農作業農機具事故が大幅に減少**。
- ・毎年自己点検を行いリスクの検証・改善。
- ・農作業事故への対応のため普通救命講習の受講。

茶園名	作業日	作業内容	安全管理点
茶園A	2015年10月1日	除草作業	除草機使用時の安全確認
茶園B	2015年10月2日	施肥作業	肥料取扱い時の安全確認
茶園C	2015年10月3日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園D	2015年10月4日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園E	2015年10月5日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園F	2015年10月6日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園G	2015年10月7日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園H	2015年10月8日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園I	2015年10月9日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認
茶園J	2015年10月10日	収穫作業	収穫機使用時の安全確認

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆全組合員の取組意識の醸成

### ◆労働環境の整備 (ハード面の導入経費)

- ・農薬保管庫、集荷加工工場の改修・機器の増設等。

### ◆生産履歴の管理

- ・施肥・防除、収穫等の作業日報への記帳徹底。

### ◆リスク評価 (農作業安全)

- ・全ての圃場の農作業事故防止への注意点 (圃場間の段差、農業機械の搬出入路) を改めて点検・整理。



👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# JA伊万里GAP部会

JGAP

米 (ホシユタカ)

## <基本情報>

所在地：佐賀県伊万里市立花町1290-1  
 構成員：JA伊万里青年部 20名  
 栽培面積：米 (ホシユタカ (長粒種)) 7ha



ホシユタカ



## 【経営理念】

伊万里産「ホシユタカ」のブランド化に向け、生産者、JA及び試験研究機関が連携し、栽培指針を定め高品質で安定した生産に取り組み、認知度向上と消費拡大に向けた活動を展開する。

耕作放棄地の解消とニーズにあった作付けを行う。

「生産したものを売る」から「売れるものを作る」に変える。

## <GAP認証取得のきっかけ>

- 関東の米穀小売店から佐賀県を通じ、炒飯やカレーなどに適した長粒米「ホシユタカ」の栽培提案があり、伊万里市が栽培地となった。
- 国際水準GAP認証が、東京オリ・パラへの食材提供の要件となったこと。

⇒ 令和元年9月 JGAP団体認証取得

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 地域において、GAPに対する意識が高まり、他の部会でも取組を検討するようになった。
- 物品の整理整頓や安全確認を行うようになった。
- JAの他の倉庫でも、リスク管理を行うなど、組織全体への波及効果があった。
- これまで、勘に頼っていた生産管理を見える化、デジタル化し、伝えることができるようになった。

## 【今後の意向】

- 輸出を視野に入れた販路拡大。
- 販売先のニーズに合わせたGAP認証取得。
- JA伊万里全体での国際水準GAPの認証取得。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 生産者の理解を得て意識を変えること。
- 市・JAと連携したGAP認証取得の推進体制を確立するため、「伊万里・有田地区GAP地域推進協議会」を設立したこと。



## <問合せ先>

TEL : 0955-23-5560

レシピコンテンツを開催し、消費者へGAPと長粒米をPR



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 愛菜ファーム 株式会社

<http://aisaifarm.jp/index.html>

GLOBALG.A.P.

トマト

## 【基本情報】

所在地：長崎県諫早市 構成員：社員30名（契約社員を含む）、作業員120名（季節雇用含む）

○事業内容…農産物生産・販売，農作業受託，集出荷事業受託

○農場概要…経営面積：47.3ha（露地野菜37.3ha，施設野菜10ha）

（H30作付品目：トマト（ミニトマト・大玉トマト）8ha，たまねぎ10ha，にんじん12ha，小松菜0.6ha，その他）

○経営理念…「安全・安心・新鮮で愛を育む美味しい野菜の提供！」



## 【GAPの取得のきっかけ】

- ◆安全性の担保
- ◆世界に通用する野菜の生産



2011年認証取得  
GLOBALG.A.P.

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆リスク評価（食品安全・農作業安全等）

- ・作業や現場等のリスク評価（掘り起こし）
- ・リスク評価に基づくマニュアルやルールづくり
- ・日々の各作業現場の管理や農作業等の記録

### ◆社員（作業員）の意識改革

- ・なぜGAPが必要なのか社員の意識改革
- ・作業員への統一された指導や作業手順とルールへの習熟



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆社員・作業員の意識が変わった

- ・社員等が自ら何をすべきか考え意識するようになった。
- ・国際基準のGAPにより、当社が目指す「安全性の担保」と「世界に向けた野菜づくり」に繋がっている。

### ◆輸出の取り組み

- ・平成26年から輸出を開始。自社ブランド「愛果菜」の信頼性の向上（主な輸出先：香港、シガポール）。

### ◆安心安全の担保

- ・問題を迅速に発見し被害を最小限に抑えることができる。
- ・常に自分たちで見直し、改善していくことで、安全・安心の確保と現場に合った体制が構築できている。



👉 **G A Pの取組**  
(個別認証)

# アリアケファーム 株式会社

**GLOBALG.A.P.**

たまねぎ

## 【基本情報】

所在地：長崎県諫早市 構成員：社員7名、作業員（周年雇用：12名、季節雇用20名）  
(農場概要)

経営面積：57.6ha

(H30作付品目：たまねぎ41ha, にんじん8ha, じゃがいも8ha, 長ねぎ3ha, しょうが0.6ha)

(経営理念)

「お客様が求める野菜づくり、信頼される安全性の担保、定品質・定価格・定量産」



## 【G A Pの取得のきっかけ】

- ◆安心安全の担保
- ◆市場ニーズへの対応



2009年認証取得  
GLOBALG.A.P.

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆リスク評価（食品安全・農作業安全等）

- ・各農作物毎の作業等のリスク評価（掘り起こし）
- ・生産から出荷までの各種作業等のマニュアルやルールを自分達で考え構築する

### ◆作業員への意識付け⇒農業を知らない作業員

- ・GAPの取り組みの意味（必要性）をキチンと理解させる必要がある



経営理念を目指した  
**「見える化」**



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆作業員の意識の変化

- ・GAPの取り組みを理解し、社員や作業員が自ら何をすべきか考え意識するようになった。
- ・農業に対する考え方そのものが大きく変わった。
- ・当社が目指している安全性の担保、定品質・定量産に繋がっている。

### ◆安心安全の担保

- ・生産から出荷までの営農活動全般のトレーサビリティが構築された。

### ◆労働環境の整備

- ・作業員との意見交換等により、意見を取り入れることで必要とされる環境整備、現場に合った農作業事故の防止に向けた対策など、互いの信頼関係が強くなった。



## 👉 G A Pの取組 (個別認証)

# 有限会社 田中農園

JGAP

ほうれんそう・  
みずな・こまつな

### 〈基本情報〉

所在地：長崎県島原市

構成員：23名（役員3名、従業員20名）

栽培面積：7ha（ハウス：5ha、露地2ha）

（作付品目：ほうれんそう、みずな、こまつな）

### 【経営理念】

- 「美味しい健康・安全な野菜生産を通じて、地域生活の充実に貢献する」
- 「明るい楽しい社会の中で、規律のある職場を通じて、生活の安定・職場づくりに邁進する」
- 「日本一の野菜づくりに邁進する」



### 【G A Pの取得のきっかけ】

◆輸出やビジネス面での  
信頼度の向上



JGAP青果物2016  
(2019年1月認証取得)

### 【GAP認証取得で苦労したこと】

#### ◆作業員への意識付け

・農薬や道具の整理・整頓など、農業を生業とし食品を扱う上で「当たり前なこと」が出来ていなかった。



### 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

#### ◆安全管理・意識改革

・食品安全だけでなく、安全な農作業など、従業員の意識改革ができた。

#### ◆品質の管理・向上

・どの圃場で収穫し、誰がパッケージを行い、どこの取引先に納品したか等を、全てデータ管理することでトレーサビリティを構築し、品質管理・向上に繋がっている。

#### ◆輸出の取り組み

・平成26年から「素肌美人」「贅沢野菜」の自社ブランド名で香港へ輸出。  
平成29年からマレーシアやシンガポールへも販路を拡大。  
・G A Pを取得したことで、海外での優位販売ができるようになった。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# JR九州ファーム株式会社 松浦事業所

GLOBALG.A.P.

アスパラガス・ブロッコリー

## 〈基本情報〉

所在地：長崎県松浦市

構成員：正社員4名、期間契約社員24名（うち外国人技能実習生研修生10名）

栽培面積：5.2ha（R元作付品目：アスパラガス3.3ha,ブロッコリー1.9ha）

## 【経営理念】

「地域に入り、その土地の良い物をしっかり掘り起こし、地域農業の活性化をめざす」

**JR九州グループの「安心・安全」の理念を守り、グローバルスタンダードの営農**



## 【GAPの取得のきっかけ】

◆ **JR九州ブランドの**  
**「安心・安全」の証明**



2019年3月認証取得  
GLOBALG.A.P.

## 【GAP認証取得で苦労したこと】

### ◆ 社員・作業員への意識付け

- ・ GAPの取り組みの意味（必要性）をキチンと社員や作業員に理解させる必要がある。

⇒ **全員でGAPの基礎を勉強**

- ・ 各農作業の流れ中で、ルールと取り組みの意味を伝え、現場にあった内容にする必要がある。

⇒ **各農作業の手順やルールなどを現場に落とし込む**



## 【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

### ◆ 作業員の意識の変化 ⇒ **安心・安全の担保**

- ・ GAPの取り組みをキチンと理解し、自らが何をすべきか考え、意識するようになった。
- ・ 生産から出荷まで、食する物を生産する会社として、農作業だけではなく、自分たちが携わった農作物への安心・安全に対する意識付けとして非常に効果があった。

### ◆ 労働環境の整備

- ・ 作業員との農作業等の安全に関するコミュニケーションがとれ、一緒にリスク評価を振り返り、見直していくことで互いの信頼関係が強くなった。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 栗原ねぎ

JGAP

ねぎ

## <基本情報>

所在地：長崎県雲仙市国見町多比良戌1448-39  
 構成員：12名（家族4名、パート2名、研修生6名）  
 栽培面積：ねぎ 8ha（周年栽培）

## 【経営理念】

豊かな土と水で作物をつくり、安定した農業経営を確立し、地域の活性化に貢献します。

安全・安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 香港及びシンガポールにおいて「雲仙栗原ねぎ」※が商標登録されたこと。※雲仙市の雲仙ブランド（2019認定登録）
- GAP認証を取得している知人の勧めをきっかけに、**輸出を視野**に入れ、JGAP認証を取得。

⇒ **令和2年8月 JGAP個別認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと・取得後の課題>

- GAPの取組に対する**従業員の理解・意識改革**。
- パートや研修生に**細かなリスク対策を自ら実践**して見本を示すこと。
- 膨大な書類作成**。
- GAPの取組を理解してくれる契約出荷先の確保。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農業安全に対する意識が向上**し、使用する水や流通手段などに対しても**リスク管理**をするようになった。
- 県内外の**スーパーや大手食品企業**との**取引が増加**。
- 取引小売店**の農産物の**仕入れ基準の審査が免除**。

## 【今後の意向】

- 『雲仙栗原ねぎ』の**知名度向上**
- 輸出**による販路拡大



## <問合せ先>

TEL : 0957-78-5350  
 URL: kuriharenegi.com

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# 生産組合 鷹博農園

JGAP

レタス・サニーレタス  
ス・リーフ・キャベツ

## <基本情報>

所在地：長崎県雲仙市愛野町甲3378-6

構成員：6戸

栽培面積：43ha（レタス25ha、サニーレタス5ha、リーフ3ha、キャベツ10ha）

## 【基本理念】

雲仙の肥沃な大地と清新な水でレタス、サニーレタス、リーフ、キャベツを育て、安定した農業経営を確立し、農業の活性化に貢献する。

## 【行動指針】

消費者に安全・安心な農産物を提供すべく、野菜の品質向上に努め、相互の連絡協調と経営の合理化を図り、組合員の所得向上と次世代へ受け継がれる人材育成を行いながら、生産振興を期することを目的とし、食の供給の担い手として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。



## <GAP認証取得のきっかけ>

○大手契約先からGAP認証取得の要請を受けた際、GAP指導員研修等の受講経験から知識があったことと、**長崎県**から**JGAP認証取得の後押し**を受けたこと。

⇒ **令和2年9月 JGAP団体認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

○**狭い段々畑が多数**（400筆程度）あり、**圃場管理の記録が膨大**

○農薬散布、肥料散布及び資材などの**管理記録のデータ化の徹底**

○捨てる物は捨てるのマニュアル作成



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農薬・肥料の無駄が減り**、経費削減。
- 既存経営がリセットされ、GAPに基づく**新たな経営への転換**。
- 様々なデータが蓄積**され**栽培管理へ活用**。

## 【今後の意向】

- 輸出**を目標に、**GLOBALG.A.Pの認証取得**。
- 更なる規模拡大及び販路拡大により、次世代へ繋げる。

## <問合せ先>

TEL：0957-27-5422



## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# 坂上農園

<https://www.sakagami-minitomato.com/index.html>

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

### <基本情報>

所在地：熊本県玉名市

構成員：ご夫婦、(平坦地) 常時雇用13名 (高冷地) 臨時雇用6名

### <農場の概要>

栽培面積：160a (冬春ミニトマト(赤) 85a、冬春ミニトマト(カラー) 15a、夏秋ミニトマト(赤) 60a)

### <農場のこだわり>

「安心して食べられるトマトを食卓へ(美味しいミニトマトは当たり前)」

■徹底したハウス管理 ■GLOBALG.A.P.取得 ■従業員との情報共有化の徹底



### <GAPの取得のきっかけ>

- 商談会での出会い → ファームアライアンスマネジメント
  - くまもと農業経営塾 → 自社の強みを磨いて競合他社との差別化
  - ①熊本県産ミニトマト ②周年栽培 ③**GLOBALG.A.P.**
- 3本柱で販路拡大**を目指す。



2015年  
GLOBALG.A.P.取得【ミニトマト】

### <GAP認証取得後の付随効果>

#### ◆販売面

- 大消費地のデパートで、GLOBALG.A.P.コーナー販売
- バイヤー様から栽培履歴を求められても即対応できる
- 特に**トレーサビリティが求められる**大手レストラン、外食流通と商談可能に。

#### ◆経営改善面

- **月1回のミーティングで職場の環境改善**
- **リスクマネジメント能力向上**



### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆リスク評価

- ・今まで農業をする上でわざわざ考えていなかった。
- ・最初は考えてもなかなか評価出来なかった。
- ・評価後の対応策が分からなかった。

#### ◆危険予測・未然防止策

- ・リスクを見つけるではなく、  
感じる力が徐々についてきた。

GAPは  
経営改善  
ツール

### <今後の経営展開>

#### ◆地域を守る農業の担い手を増やす。

女性が働きたいと思う農業スタイルや、雇用環境の整備など**楽しい農業スタイルの提案。**

#### ◆法人化による雇用の場の提供

海外研修生ではなく、**日本人の雇用の場を提供**

#### ◆地域農業を守る。

災害時など「**いざという時に役立つ企業**」を目指す。



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 玉名の米所 八十八夜

<http://818ya.net/>

GLOBALG.A.P.

米

## <基本情報>

所在地：熊本県玉名市 労働力：夫婦、両親、妹

## <農場概要>

栽培面積：約7.9ha（水稲3.1ha、大豆2.4ha、麦（大豆裏作）2.4ha）

## <経営の理念>

「食で人の体は変わる」



## <GAPの取得のきっかけ>

- ・生産履歴の消費者等へのPR 2018年 GLOBALG.A.P.取得
- ・農産物のブランディング (水稲 2.3ha)

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆リスク評価（食品安全、農作業安全）

- ・慣習で行っていた清掃手順や頻度、作業場での飲食禁止、火気厳禁を書面にしたルールを作成
- ・慣行栽培で使用した機械（コンバイン、乾燥機等）を共用しており、交差汚染防止のため清掃

### ◆労働環境の整備

#### （ハード面の設置にかかる導入経費）

- ・GAP認証圃場は無肥料・無農薬であるが、慣行栽培圃場で農薬を使用するため保管庫を平成29年9月に新規購入
- ・作業場の蛍光灯をLEDに交換
- ・倉庫の防虫対策として網戸を新規設置



(農薬保管庫)

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆圃場毎に出荷袋を別にして、異物混入等が発生しても**最小限の回収**で済む体制を確立
- ◆手渡し販売ではGGAP認証していることで**お客様から好反応**
- ◆認証前に比べ手渡し販売の際に**生産履歴の説明が容易**



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 株式会社 鷹本農産

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

## <基本情報>

所在地：熊本県玉名市

構成員：正社員6名、パート22名（全て女性、周年雇用）

栽培面積：ミニトマト、米、麦 61.2ha（うち、ミニトマト3.2ha、ハウス103棟）

※令和3年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール  
農産局長賞受賞

## 【経営理念】

持続可能な農業経営を支えるGLOBALG.A.P.



## <GAP認証取得のきっかけ>

○安全安心な農産物を食卓へ提供することはもちろんのこと、働く人が、働きがいのある職場環境を作ることで、経営安定と生産性の向上を図りたいと考えた。



GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2015年12月

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- パート従業員へのGAPの説明（作業効率向上のための体制づくり）
- 各作業のマニュアルづくり



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○パート従業員を3チーム体制とし、生産現場では各チーム長の判断に基づき作業を行わせ、作業効率の向上に繋がっている。

○アプリ（スケジュール調整サービス）を利用して、1ヶ月間の作業予定を把握し、柔軟な勤務体制を可能にして、働きやすく、能力の発揮できる職場環作りを徹底している。

○3ヶ月毎に全体ミーティング、月毎に全従業員と個人面談を行い、良い意見、要望に対しては積極的に取り入れ、経営改善、作業方法の改善を行っている。



## <問合せ先>

TEL 0968-57-9492

<https://www.takamotonousan.com>

<https://www.sakagamiminitomato.com/index.html>

## <今後の意向>

○米麦についても、GLOBALG.A.P.認証を取得するよう準備を進めている。

## GAPの取組 (個別認証)

# こめだ農園

GLOBALG.A.P.

にんじん

<http://www.komedanouen-daikon.com/> <http://www.komedanouen-ninjin.com/>

### <基本情報>

所在地：熊本県西原村

労働力：夫婦、両親、正社員3名、外国人技能実習生1名、パート6名

#### <農場概要>

栽培面積：25ha（にんじん18ha、だいこん7ha）

#### <経営理念>

「消費者ニーズに応じた野菜づくり、儲かる農業の実現」



### <GAPの取得のきっかけ>

取引先との契約条件

2016年 GLOBALG.A.P.取得  
(にんじん 18ha)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆生産履歴等の管理

- ・ほ場管理等の記帳、ほ場地図の作成

#### ◆労務管理

- ・外国人技能実習生が理解できる契約書や作業マニュアルの作成
- ・従業員との意見交換、議事録の作成

#### ◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

- ・ほ場等の危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

#### 【農業者の声】

GAP導入1年目は、農薬や農機具の整理整頓等、労働環境の整備に苦労した。



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆取引先との契約を優先的に継続

#### ◆リスク管理の徹底

- ・従業員が作業場やほ場で衛生面に気を配るようになり、**より安全で安心な農産物の提供につながる**

#### ◆整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- ・整理整頓により、作業場が整理され、**作業効率があップ**
- ・農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出減少**
- ・生産履歴等の管理により、**従業員への情報共有を効率化**



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

## (株) 下巢畑農産



JGAP

だいこん・かんしょ

### <基本情報>

所在地：熊本県阿蘇郡小国町下城2701  
 構成員：7名（役員2名、従業員5名）  
 栽培面積：夏だいこん 4ha（延べ面積）、かんしょ 3ha

### 【経営理念】

「こだわりの土づくりで育てた土もの野菜は、阿蘇の高冷地ならではの寒暖の差により、おいしく育つ。土づくりから野菜生産、商品化まで一貫して行う、安全・安心な商品（根菜類、さつまいもの加工品）を提供する。」



### <GAP認証取得のきっかけ>

○6次産業化に取り組んだものの、販売先がなく厳しい状況の中、友人からGAPを知らされ、GAPは、**農業におけるISO**であり**重要**だと気付かされた。

⇒ **令和元年9月 JGAP認証取得**

### <GAP認証取得で苦労したこと>

○整理整頓や農薬の有効期限の徹底など、**これまでとのギャップ**に、**周囲の理解をなかなか得られず苦慮**。

○120におよぶ審査項目のクリア



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 生産工程や販売履歴のデータを蓄積・保存することにより、過去の記録から、過去の失敗を繰り返さない他、経営の見える化にも繋がった。
- 圃場管理**が徹底され、**無駄のない投薬、施肥**となり、**労働時間の短縮**や**経費が削減**された。
- 食品企業や卸、外食産業との契約取引により、計画が増加し**経営が安定**した。

### 「今後の意向」

- ASIAGAP認証**を取得し、**輸出**を含めた販路拡大。
- 青果物と加工品のセット販売を目指す。HACCPの取組も強化して行う。

### <問合せ先>

TEL：0967-32-8117  
<https://gezubatake.com/>



## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# 立石農産

<http://www.gunchiku.co.jp/publics/index/21/> (立石グループ)

JGAP

ミニトマト

### <基本情報>

- 所在地：熊本県八代市
- 労働力：夫婦、外国人技能実習生8名、パート6名

### <農場の概要>

- ◇ 栽培面積：1.85 ha (ミニトマト)

### <経営の理念(企業宣誓)>

- ①人と自然に優しい農業を行う
- ②社会のために向上心を持って事業に努める
- ③目標でなく、目的をもって作業を行う



### <GAPの取得のきっかけ>

- 農場・経営管理のツール
  - グローバル化に向けた対応
- 2010年 JGAP (Basic) 取得  
【ミニトマト：全面積】

### <GAP認証の取得・更新で苦労したこと>

- ◆ JGAP農場用管理点と適合基準に沿った**ルール作り**に困惑
- ◆ 更新審査では、特に労働安全、人権保護（実習生等）の作業条件遵守等の**原因追及・改善が厳しく求められ苦慮**

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ **経営の見える化（PDCAサイクルの徹底）**
  - ・農場、経営を点検することにより**不要（無駄）なものが判明**（経営改善、コスト削減）
- ◆ **整理整頓、農作業・点検ルールの徹底**
  - ・整理整頓による**作業効率UP**
  - ・従業員の**意識向上、労働安全に有効**
- ◆ **取引の有利性（信用・信頼の確保）**
  - ・市場、消費者等に対する**食品安全のアピール**
  - ・**契約出荷、市場での有利販売、取引の拡大**

### <今後の経営展開について>

- ◆ GAPに取り組む**新しい仲間作り**（農業経営者となる人材育成）
- ◆ 将来的には**アジア圏をターゲットに輸出**を検討
- ◆ 現在のJGAPからASIAGAP認証取得を検討（まずは販路の確保を優先、先方の要望に応じて取り組む予定）



👉 **G A Pの取組**  
(団体認証)

# J A熊本うき生姜専門部会 G A P 研究会

JGAP

しょうが

## <基本情報>

所在地：熊本県宇城市

構成員：50名（部会全体は138名）

品目：しょうが、G A P 認証品の取扱量：1,600トン（部会全体の約6割）

## <経営理念>

農家主体の組織運営で、継続的なG A Pの取組みを目指す



## <G A Pの取得のきっかけ>

取引先からの要請と同時期にうき生姜専門部会に青年部が発足し、役員と青年部を中心に認証取得の機運が高まった

⇒ 平成30年8月 J G A P 団体認証取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆ 部会内の合意形成

- 最終目標は専門部会全体での認証取得としつつも、G A P 取得を強制的に強いるのではなく、希望者がG A P 認証取得に取り組むこととし、役員や青年部が周囲に働きかけ

### ◆ 記録作成と整理整頓

- 作業日誌の記録方法等の研修会を開催
- 青年部を中心に26名がJ G A P 指導員基礎研修を受講。その中から責任者を決め、部会を6班に分けて倉庫の巡回点検を実施



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ■ 販売価格への反映

- 未取得者よりも販売単価がアップし、G A P 認証にかかる経費を相殺。また、出荷規格もより良い条件で販売することが可能になった

### ■ 整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- 作業場が整理され、作業効率がアップ。また、農薬や肥料の在庫管理で無駄な支出が減少した

### ■ 部会員間の結束強化

- 年輩農業者への助言を青年部を中心に行ったことにより、世代を超えた生産者間の情報交換が活発化し、部会員間の結束が強まった

青年部でみんなを引っ張ってます！

## <今後の課題>

- 部会内での内部監査員養成と内部監査の効率化
- 現在は県やJ Aも一緒に取り組んでいるが、最終的には部会で全て完結できるようにしたい



連絡先：TEL 0964-8383-5303

## 👉 G A Pの取組 (個別認証)

# 有限会社土の文化ファーム

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

### <基本情報>

所在地：熊本県熊本市中央区上通町 農場：熊本県熊本市北区植木町他

構成員：20名

栽培面積：熊本県内約1.5ha（カラフルミニトマト、ナス、ニンジン等）

経営理念：「私達は誰もやったことのない事へ挑戦することにより日本一の農場を目指す」



### <G A Pの取得のきっかけ>

・従来から安全性を意識した生産・販売を行っていたが、**食品安全・労働環境・環境保全**について、国際基準を満たしていることを証明する手段とするため。



2018年5月 GLOBALG.A.P. 取得

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆生産履歴等の管理

・ほ場管理等の記帳。

#### ◆労務管理

・パート従業員が理解できる作業マニュアルの作成。  
・従業員との**作業の効率化や安全管理等**の意見交換。



#### ◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

・ほ場等における危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

### <GAP認証取得による効果>

#### ●肥料や農薬の保管場所の整理整頓・入出庫管理

⇒在庫量や使用頻度の把握。

⇒肥料や農薬の管理徹底により、無駄な購入や期限切れ農薬の廃棄などのムダの削減。

#### ●G A P 品限定の新規販路開拓

#### ●企業の農作業実習や支援学校の現場実習などの外部受入



### <今後の展開>

#### ●グローバルG A P 認証圃場の拡大

#### ●南阿蘇農場新設

（夏秋トマトの作付拡大）

#### ●GAP認証品の更なる販路拡大



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# (有) 村川商店 / (有) 熊本有機農産

ASIAGAP

人参・たまねぎ・ばれいしょ・南瓜・ほうれん草・キャベツ・白菜・だいこん

## <基本情報>

所在地：熊本県熊本市東区戸島町2479

構成員：14名（役員2名+従業員2名+実習生10名）

栽培面積：4.5ha（にんじん2ha、たまねぎ0.8ha、ばれいしょ0.3ha、  
南瓜0.2ha、ほうれん草0.2ha、（キャベツ、白菜、だいこん）1ha）

## 【経営理念】

- 安心、安全な新鮮野菜の提供・生産農家の育成・適正利潤の確保。
- お客様との信頼と会社内の人的信頼関係を基礎に、安全な野菜の普及を目的として、この熊本の地より全国に新鮮でおいしい野菜の提供を具体的、実現的に実施していくことを、基本理念とする。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材提供を狙う。

ASIAGAP認証取得 ⇒ 平成30年2月

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- リスク評価に対応した施設整備や整理整頓の徹底
- 作業工程・衛生マニュアルの作成
- 書類作成に苦慮し、結果、事務専門職員を配置。
- 審査時の質問には、即答が求められ冷や汗。
- 全ての作業について記録を行うことなど、従業員によるデータ管理の習慣付け。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得により、取引先からの信用度が格段にアップ。
- 生産から出荷までのトレーサビリティが明確になり、国内スーパーに安全・安心なものを出荷できるようになった。
- 「今後の意向」
- 輸出量を拡大し、国内販売量を縮小。
- JAS認証（無農薬・無化学肥料・安心・安全・美味しいやさいの栽培を目標）を取得予定。



問合せ先: TEL 096-380-8663  
<https://www.murakawashoten.com>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農事組合法人 夢農塩

<https://www.yumeaguri.co.jp>

JGAP

米 (粳、玄米)

## <基本情報>

所在地：熊本県山鹿市  
構成員：5名（2世帯（4名）、パート従業員1名）  
栽培面積：5.3ha（水稻）



### 【経営理念】

「子や孫に安全安心な食べ物を食べさせたい」

農地に還元塩を散布する「還元塩ミネラル農法」で無肥料・無農薬での米栽培

## <GAPの取得のきっかけ>

米の消費量が減少するなか、輸出を視野に入れ更なる販路確保のため、還元塩を使用した米栽培のほか有機JAS認証を取得。併せて農場管理のためJGAP認証も取得。



**JGAP認証取得**  
**2019年2月**

## <GAP認証取得後の効果>

- 農機具等の整理整頓を行うことで、適切な管理が可能となり、パート従業員へ適切な作業指示ができるようになった。
- 認証を受けたことで、販売会で消費者の目にとまるようになった。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆書類作成等の事務

・今まで農業をする上で特に作成することのなかった多くの書類作成。  
⇒コンサルタントの支援を受け対応。

### ◆危険予測・未然防止策

・生産工程における注意事項について、携わる全ての構成員が理解できるよう作成することに苦労した。

## <今後の経営展開>

### ◆地域の農地をまもる

・地域の高齢化による農業者の減少に対応するため、販売部門の（株）夢アグリとの経営統合の視野に入れ農地を維持。

### ◆安全な食べ物の供給

・今後も無肥料・無農薬による米栽培と販売

### ◆新たな販路開拓

・有機JAS認証とGAP認証を活かした主食用米と米加工品（玄米パウダー、米糠パウダー、ぬか醬（醤油））の販路開拓。



## GAPの取組 (団体認証)

# JAおおいたGAP研究会

<問い合わせ先> J AおおいたG A P研究会事務局 TEL : 097-544-0310 ( J Aおおいた営農部園芸課)

## JGAP

柑橘、みつば、いちご、大葉  
白ねぎ、七草

### <基本情報>

所在地：大分県大分市

構成戸数：78戸

### <経営概要>

経営面積：99.7ha (柑橘：7.9ha, みつば：5.6ha, いちご：7.2ha, 大葉：12.4ha, 白ねぎ：58.9ha, 七草：7.7ha)

### <取組方針>

①本人が諦めない限り、最後まで付き合う！②誰(高齢者)でも取り組むことが出来るよう、工夫を重ねる！



平成29年度未来につながる  
持続可能な農業推進コンクール  
生産局長賞受賞



### <GAPの取得のきっかけ>

■大分県内で発生した残留農薬事故からの立ち直りと販路拡大のため、大分県と連携してJGAP団体認証に向けた準備開始(平成23(2011)年6月)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### 【認証取得にあたって】

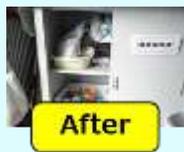
◆取組意思のある高齢者にわかりやすいマニュアルの提示、記帳しやすい様式の必要性等、課題が浮き彫りに。

#### 【認証取得後】

◆3品目が団体認証を取得 → 審査認証費用を抑えられないか。

#### 【生じた課題への対応】

- ◆マニュアルは、図を多用、文字を大きくするなど高齢者へ配慮。
- ◆生産者が慣れたやり方、様式をできる限り活かす。
- ◆農場・倉庫等の片づけと整理整頓！

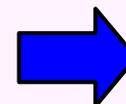


◆いちご、みつば、柑橘の3団体を統一し、団体事務局の運営効率化

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆柑橘は、GAP認証を取得し団体として取引先と協議することにより**高単価商品としての販路拡大**(糖度等の品質基準も有り)や西日本全体へ**販売エリアが拡大**。
- ◆出荷規格の交渉もより良い条件で進めることが可能となり、いちごについては規格が簡素化し、生産者の**パック詰め作業効率が2倍以上に効率化**

(平成24(2012)年度：7,840g/時間 ⇒ 平成25(2013)年度：15,000g/時間)



【従来の2段詰めパック】

【1段詰めパック】

- ◆いちご、みつば、柑橘の3団体を統一して団体認証を取得することにより、団体事務局の審査費用は**45万円→15万円**、審査対象農場数の削減により**農場毎に負担する審査費用は約4万円→2万円に削減**
- ◆**青果物であれば、どの品目でも追加・拡大できる体制を確立！**

(29年度に3品目追加取得。30年度はさらに2品目の追加取得に向け、取り組み中)

## 👉 GAPの取組 (個別認証)

# シセイ・アグリ 株式会社

連絡先：0974-34-2114 ホームページ：<http://www.shisei-agri.com/>

GLOBALG.A.P.

白ねぎ

### <基本情報>

所在地：大分県豊後大野市

構成員：16名（従業員：12名、パート：4名）

作付品目：白ねぎ15ha、かんしょ2ha、さといも1.5ha

【企業理念】：「志を持ち、誠を尽くす」

【経営理念】：～4つのシセイ（至誠、資生、姿勢、市井）～

GAPの取組状況：社内ルールにGAPを取り入れる事で、社員への浸透を図る



### <GAPの取得のきっかけ>

GLOBALG.A.P.の目指す  
「持続可能な農業」に共感



2018年3月  
GLOBALG.A.P.取得

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆従業員の意識改革

- ・GLOBALG.A.P.の必要性
- ・衛生面  
(食品としての位置づけ)

#### ◆審査書類の整理

- ・作業日報等の記載

#### ◆取得・更新の費用負担



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆商品や会社に対する信頼性の向上

- ・商談がスムーズに進む
- ・取引先拡大 (増加：5社)

#### ◆従業員の意識の変化

- ・業務の専門化や労働環境の改善により、能力を発揮し、やる気を引き出し**生産性がアップ**

#### ◆整理整頓

- ・定期的な清掃、収納場所の取り決め及び機械のメンテナンスにより**作業効率アップ**

#### ◆作業マニュアルの作成

- ・作業毎にマニュアルを作成することにより、**品質の安定**



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 有限会社 育葉産業

<http://www.m-mitsuba.com> 美水みつばの郷

<b>JGAP</b>
みつば

## <基本情報>

所在地：大分県豊後大野市  
社員数：38名（うちパート32名）

## <農場概要>

鉄骨アルミガラス温室 7,300㎡（みつば水耕栽培）

## <経営理念>

手を抜かない誠実さをモットーに皆様が食卓で美味しく・安心して召上がっていただける様、優しく、丁寧に**美水（めいすい）みつば**を育てます。

## <認証品目>

**JGAP**  
みつば



## <GAPの取得のきっかけ>

無農薬や減農薬が真に安全の証なのかを疑問に思い、「**根拠ある安全**」を模索し、**GAPの必要性**を見出した。



**2006年 JGAP取得**  
**大分県第1号！**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

◆2005年にJGAP初版による認証を受けようと志したが、実施例がなく参考にした協会の資料は研究用であり非現実的であったため、実現可能な仕組みづくりの明文化のところで苦労した。この経験から「**最初から完璧を目指す必要は無い**」ことを知った。まず、作業手順を書き出し、その中に含まれる無理、無駄、むら、リスク要因を見つけ、**できることから取組を実施し、改善を重ねることが大切**だと実感した。

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆GAPを実践していくと**自然に整理整頓が出来て、機械や道具・書類の管理が的確になり不要な動作が少なくなった**。また、農場全体の管理整理も進んだ。
- ◆**自らの農業のあり方を見直すチャンス**となり、**お客様の視点に立って商品づくり**をするようになった。

(取組の一例)



トレーサビリティ用の札



唾が飛ばないようにするマスク

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農事組合法人 芦刈農産

JGAP

かんしょ

## <基本情報>

所在地：大分県豊後大野市三重町芦刈283番地の2

構成員：30名（社員5名、パート25名）

栽培面積：かんしょ 9.5ha

（紅はるか（商標：はるか姫8.5ha）、シルクスweet（商標出願中：シルク姫1ha））

## 【経営理念】

集落営農法人として、法規制の遵守を基本とし、地元大地の恵みを受けた農産物の生産を継承するため、農業のイノベーションや将来につながる地域農業活動の経営を行い、信頼される農場管理を目指す。

安心・安全な「かんしょ」を消費者へ届ける。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 関東（東京）方面に出荷していたが、オリ・パラを契機に大分県からの勧めもあり販路拡大を期待。
- また、6次産業化により、焼き芋急速冷凍真空パックを商品化したことも含め海外を視野に販路拡大を検討。

⇒ **令和2年2月 JGAP個別認証取得**

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 従業員の農作業安全に対する意識が改善。
- 農薬散布など記録の見える化（データ）により在庫管理が可能となり無駄が減り、経費を削減。
- 生産物のトレサビリティが確立。
- 従業員任せから責任者が確認する習慣ができ、指示系統が確立。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 従業員に対する整理整頓の徹底などの意識改革。
- 資材等の在庫管理の徹底。
- 機械の点検・清掃の徹底。
- 自己点検の評価項目、帳簿等の書類の種類が多さ。



## 「今後の意向」

- 青果物、加工品をアジア・マカオへ輸出。
- 国内市場での認知度向上。
- 施設整備により、加工品の製造を10倍まで増加。

## 【問合せ先】

TEL 0974-22-6016

<https://asikarinousan.com/?mode=f1>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

あんだち  
**ここのえ安達農園**

GLOBALG. A. P.

ブルーベリー

＜基本情報＞

所在地：大分県玖珠郡九重町

栽培面積：1.5ha（ブルーベリー）

構成員：家族4名、パート7名

【経営理念】：ビッグよりストロングを目指す！



＜GAP認証取得のきっかけ＞

農業の世界標準規格の認証に関心があり、イオンアグリ創造(株)の「創農塾」受講をきっかけにGAPが必要と判断。



**2016年10月**  
**GLOBALG.A.P.取得**

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

- ◆ コンサルタントに頼らず、「創農塾」の受講と自助努力のみで取得したこと。
- ◆ パートにGAPの意義を理解してもらうこと。



＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

- ◆ 家族やパートが、自分の働く農場に対して「我が農園は世界基準だ！」とプライドや意識が芽生え「なぜこうするかを自ら考える」ようになった。
- ◆ 世界基準で認められた農場だからこそ「良い商品を作りたい」という意識が醸成された。
- ◆ 生産するだけでなく商品として「お客様に届ける」との意識が生まれ、ロスが減った。
- ◆ マスコミを始め各方面から注目されることが増え、農園のメディアへの露出度アップ、PRに繋がっている。



＜今後の目標＞

- ◆ 農業と福祉の連携として、収穫作業やジャム加工など障がい者や高齢者が安心して働ける場を目指す。また、将来的にはGAP、有機JASを活かして輸出も視野に入れたい。

問合せ先

T E L 0973-78-8917

E-MAIL mka-an@oct.net.ne.jp

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 久保さんちのお米 (株)

JGAP

米

## <基本情報>

所在地：大分県宇佐市下高家1463

構成員：4名（役員1名、従業員3名） 栽培面積：37ha  
（うるち米13ha、もち米0.5ha、飼料用米23.5ha）

## 【経営理念】

### ○安心・安全ファースト

私達は、「自分の子ども達に食べさせる農産物を皆様に」をモットーに、安全・安心な農産物をお客様に届けます。農園で働く仲間とともに、より質の高い農産物を目指し、私達の農産物で皆様が幸せな気持ちになってもらえるよう日々努力しています。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 「安心いちばんおおいた産農産物認証（大分県独自の安全性基準に基づいて栽培された農産物）」の取組から、**更なる取引拡大**を図るため。
- 法人化を契機**に、法令遵守や**持続可能な経営を目指すため**。

**JGAP認証取得 ⇒ 令和2年9月**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 三代続く農家のため不要品の整理整頓。
- 書類の整理、作成（データ入力を含む）。
- 食品安全・環境保全・労働安全のリスク管理の徹底。
- 各種のルール作りやマニュアル化。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 整理整頓ができたことで、作業効率が上がった。
- 農作業安全の意識が変わった。（講習会なども受講）
- マニュアルに基づく作業の徹底により、リスク軽減に繋がった。
- 日々の作業の中でも、生産工程管理に関する会話が出るようになった。
- 圃場作物の栽培履歴がデータ化されトレーサビリティが明確になった。



## 「今後の意向」

- 輸出マッチングに参加**。
- 販売先に応じて、GLOBAL G.A.P. 又は、ASIAGAPの認証を取得**。



## 問合せ先

TEL0978-32-4831

<https://kubosantino-okome.com/>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# (株) 安心院オーガニックファーム

JGAP

ベビーリーフ・リーフ  
レタス・シャンツアイ

## <基本情報>

所在地：大分県宇佐市安心院町  
 構成員：役員及び正社員3名、パート8名、海外研修生4名  
 栽培面積：14.75ha（内、ハウス3.45ha）  
 ※有機JASの認定も受けており、圃場で使用する水も地下水を汲み上げ、ベビーリーフは品持ちが良くシャキシャキ瑞々しいのが特徴。



## 【経営理念】

大切な人の健康を想い、安全かつ新鮮な野菜を安定供給し、豊かな食文化に貢献する

## <GAP認証取得のきっかけ>

OGAPIは、今後の農業において重要なものになると考え、JGAP指導員の勧めもあって、農業生産法人立ち上げ時に、**JGAP認証**も取得する計画を立てた。

**JGAP認証取得 ⇒ 2012年4月**



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○肥料・資材等の整理整頓により**作業効率が上がった**。  
 ○毎朝の朝礼により**従業員の意思疎通が深まった**。  
 ○危険な場所の事前確認を行い、**重大事故の未然防止**につながった。



## <GAP認証取得で苦労したこと>

○会社設立と同時にGAP認証及び有機JAS認証を取得する計画であったため、少ない人数で、やるべきこと、作成する資料が膨大となった。

## <今後の意向>

○当社の栽培スペックをフルに活用して、お客様へ新鮮で安全・安心な野菜を安定的に供給していきたい。



## 〈問合せ先〉

TEL 0978-58-3606 FAX 0978-44-1671

<https://www.facebook.com/ajimuof>

👉 **G A Pの取組**  
(個別認証)

# 農家とダイレクト株式会社

**GLOBALG.A.P.**

ピーマン

## <基本情報>

所在地：宮崎県西都市大字清水56-3

従業員：7名（正社員3名、期間雇用（1月～6月）2名、パート(通年)2名）

## <農場概要>

栽培面積：施設野菜95a（ピーマン95a（GAP認証：ピーマン））  
水稲150a

## <経営理念>

地域の食文化を維持・発展させるための農業活動を行い独立自尊の人間を育成し、環境 社会に貢献する。



## <G A Pの取得のきっかけ>

- 社員に対する衛生管理の意識向上や作業のマニュアル化に向けた基盤作りとともに、今後のGAP認証生産物の流通量の増加（スタンダードとなる可能性）を見据えて、**2018年、GLOBALG.A.P.**を取得。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 認証取得に伴う経費負担
  - ・認証取得のための設備等に経費を要し、補助金を活用しても大きな負担となった。
- 従業員への周知徹底
  - ・点検内容と作業手順の周知と理解に時間を要した。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 従業員の意識向上と作業の効率化
  - ・作業ルールを定めたことによる効率的な作業と従業員の自主性が向上
- リスク管理の徹底
  - ・医薬品の保管場所もマニュアル化したことにより作業中の怪我への対応が迅速化
- 経費削減
  - ・保管庫の整理や記録簿の管理による農薬や資材費の削減



農家とダイレクト 株式会社  
<http://noka-direct.shop-pro.jp/>

👉 **G A Pの取組**  
(個別認証)

# しい 有限会社 四位農園

**GLOBALG.A.P.**

ほうれんそう、えだまめ、ごぼう  
こまつな、ケール

## <基本情報>

所在地：宮崎県小林市野尻町三ヶ野山3028

従業員：160名

### <農場概要>

栽培延べ面積：365ha（ほうれんそう200ha、えだまめ100ha、ごぼう30ha、こまつな30ha、ケール5ha）

### <目指すところ>

「食の安全リスクの低減」「労働安全」「環境保全」「生態系の維持」の実践を通しての「食の安全と持続可能な生産管理」



## <G A Pの取得のきっかけ>

社内での圃場の管理基準としてGAPを活用するため、2009年にGLOBALG.A.P.を取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 農業生産工程管理の徹底
  - ・従業員の一日の作業の流れの明確化
  - ・栽培管理、農薬等の受け払いの記録保持
- 労働環境の整備
  - ・休憩室、トイレの改修・整備等



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- コスト削減
  - ・整理整頓や農薬等の在庫管理を記録することにより無駄な購入等が減少。
- 事故防止
  - ・毎日の朝礼で、作業手順や注意点の確認。
  - ・毎月1回、全従業員で機械の点検を行い、トラブルを未然に防止。



👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# J A 児湯 ティーフクトリー

ASIAGAP

緑茶（生葉、荒茶）

## <基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡高鍋町（団体事務局：J A 児湯）

栽培面積：約55ha（20農場が参画）

【経営理念】：法令を順守した生産活動及び安心・安全なお茶の供給を目的とした主体的運営かつ継続的改善を目指す。



## <認証取得のきっかけ>

○納入先からの要望のほか、「事故を起こさない仕組」を作り、安全・安心なお茶を提供するため。

⇒ **H27.12月 J G A P 取得**

○更なるみやざき茶の生産管理技術の高さの証明及び販路拡大のため

⇒ **H30.10月 A S I A G A P 取得（宮崎県内初（団体認証））**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ○関係書類の作成

生産履歴の記入・管理

圃場毎の管理が煩雑（圃場が分散）  
マニュアルの共有に時間を要した



### ○生産者への周知（意識改革）

「GAPをする」の意識付けに時間を要した

### ○生産・労働環境の整備

防虫対策、小動物の進入対策 等  
（より効率性のある対策を検討）



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆取引先への有利販売

- ・産地としての信頼確保
- ・海外ニーズへの対応 ⇒ 輸出への備え
- ・国際的なGAP認証プログラムG F S I（世界食品イニシアティブ）承認により販路拡大へ弾み

### ◆生産者の意識が向上

- ・食品・労働安全、環境保全に対する意識向上
- ・チーム制の導入  
生産者同士で安全対策や作業ルール等の遵守についてチェック。不適合があれば班ごとに改善を行う。

### ◆明確な目標が持てた

- ・共通の生産工程管理ができたことにより、互いに協力でき、生産者同士の関係が深まった。



良品質なお茶の生産

(連絡先)0983-23-6335



👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

株式会社 ジェイエイフーズみやざき

GLOBAL G.A.P.

ほうれんそう

### <基本情報>

所在地：宮崎県西都市大字南方3398番地2

従業員：138名（役員2名、職員27名、パート109名）

GAP認証品目：ほうれんそう（契約生産農家62戸、栽培面積約94ha、収量約2,700t）

【基本理念】活力ある農業・農村を創造し安全な食を通して国民の健康と幸せを願い自然と調和のとれた元気な宮崎づくりを目指す。



### <GAPの取得のきっかけ>

- ・ 全契約農家の栽培管理の徹底、生育把握が必要
  - ・ 国産冷凍野菜の販売先拡大のための付加価値を付ける
- ⇒ **H30.5月 GLOBAL G. A. P 団体認証取得**  
(宮崎県内JAグループ部会組織での取得第1号)

### <GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 契約農家への周知徹底
  - ・ 周知や意思統一に時間を要した
  - 「面倒くさい・難しい」という農家の意識
- ◆ 認証取得に伴う経費負担
  - ・ 既存の生産管理システムの再構築
  - 対外的に評価される基準に対応するための必要な経費

#### 「ジェイエイフーズの取り組む機械化一貫体系」



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 契約農家の意識向上
    - ・ 「GAPをする」の意識付け（「5S（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ）」の実践」「効率化」「コスト削減」）など
  - ◆ 経営の効率化
    - ・ 契約農家ごとの生産・収穫管理がより正確に実施可能に
  - ◆ ※フィールドコーディネーターによる現地確認作業が軽減（※圃場や生産者を巡回する職員）
    - ・ 契約農家によるグローバルGAP基準の栽培管理の徹底
  - ◆ 国際基準に基づく農産物の供給が可能に
- ⇒ **今後は輸出も視野に！**

### <問い合わせ先等>

TEL：0983-43-5351

HP：<http://www.jafoods-miyazaki.jp/>



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 自園自製 川越製茶

JGAP

緑茶(生葉・荒茶)

## <基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市田野町

栽培面積：茶4ha（品種：さえみどり、やぶきた他）、大根2ha、水稻0.2ha

労働力：家族3名（本人・妻・母）、期間パート4名

【経営理念】（川越製茶のこだわり）

自園自生による安心・安全なお茶を生産し、消費者に届けること



(川越社長)

## <GAPの取得のきっかけ>

「持続的農業に共感」⇒GAPを目指す

2017年4月 JGAPを取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ○認証取得までの準備

#### ◆意識改革

- ・意識づくりや決め事の徹底  
(GAPに取り組む意味の徹底)

#### ◆労働環境の整備

- ・作業施設の整理整頓
- ・リスク要因の洗い出し

#### ◆関係書類の作成

- ・マニュアルの作成

#### ◆認証取得に伴う経費負担

- ・設備の改修経費等



(道具置き場)



(農薬保管庫)

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆取引先の信頼確保

- ◆従業員の意識の変化 ⇒ 品質の向上
  - ・作業確認や打合せが増え、作業が効率化した。

### ◆整理整頓、在庫管理の徹底

- ・整理整頓が徹底され、作業効率も向上
- ・資材の在庫管理で無駄な支出が減少



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# (株) オーチャードイワマン

GLOBALG.A.P.

マンゴー

## <基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市大字柏原814-5

構成員：7名（役員1名、従業員2名、アルバイト4名）

栽培面積：マンゴー 50a（ハウス5棟）

## 【経営理念】

- 農業経営及び農場管理において、①安全で高品質な農産物の生産、  
②環境負荷の少ない生産、③安全で健康的な労働を実現する。



## <GAP認証取得のきっかけ>

- 海外のブランディング確立のヒントを求め、GLOBAL G.A.P協会の方とヨーロッパ研修に参加したことにより、**GAPの必要性を感じた。**
- 宮崎県産のマンゴーで初めてGLOBALG.A.P認証取得。

⇒令和元年7月 GLOBALG.A.P個別認証取得

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農業生産・農産物販売活動のマニュアルを作成し、従業員と共有できた。
- 構成員各々が役割分担することで、責任を持って取り組むようになった。
- 作業内容等のデータ化により、作業の効率化、経費の節約に繋がった。



## 「今後の意向」

- GLOBALG.A.Pのノウハウを活かし、適正農業をより充実させ商品価値を高める。
- 自社**マンゴーの世界規模でのブランディング確立と輸出も含めた販路拡大。**
- ホームページを活用した**通信販売の拡大や冷凍マンゴーの商品化。**



## <GAP認証取得で苦労したこと>

○製造レベル（生産～出荷）の形態での農業から販売までを行うことにより、GLOBALG.A.P 認証取得までには、コンサルタントからの改善指導を受けながら取り組んだ。



## <問合せ先>

TEL : 090-3073-8346

<https://www.orchardiwaman.com>

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 長友みかん農園

GLOBALG.A.P.

かんきつ(せとか)・きゅうり

## <基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市清武町

構成員：正社員1名、パート13名(最盛期、変動有り)

栽培面積：0.85ha(内、ハウス30棟)

※せとかは赤橙色の果皮、糖度は13度～14度と甘みが強い柑橘

## 【経営理念】

消費者と直接向き合う、安全・安心な農産物の提供



## <GAP認証取得のきっかけ>

○就農前はISOに関わる仕事を行っており、農業においてもGAPの取組は必要であると判断。

## 【GLOBALG.A.P.取得のきっかけ】

○将来的には輸出も視野に入れ、国際的にもメジャーなGAP取得を考えた。

GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2016年2月

## <GAP認証取得(更新)で苦労したこと>

○パートへのGAPの説明

○認証(更新)に関する審査費用が高額である。

## <問合せ先>

TEL 080-4485-3332

<https://www.nagatomonouen.com/>

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○栽培管理の徹底により農薬の散布量が減り、

**労働時間の短縮**や**経費削減**に繋がった。

○農業資材等の整理整頓により**作業効率**が上がった。

○農作業のマニュアル化によりパート従業員の**作業効率の向上**と**安全な農作業**に繋がった。



## <今後の意向>

○現在のみかん農園を株式会社化し、輸出にも取り組んで行きたい。



# 👉 GAPの取組 合同会社オーガニックファームZERO

ASIAGAP

人参・ばれいしょ

## <基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡新富町  
 構成員：正社員4名、パート3名  
 栽培面積：5.5ha  
 ※2008年有機JAS認証取得



## 【経営理念】

安全安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境保全型農業の実践者として、農業を通じて、社会・地域に貢献します。

## <GAP認証取得のきっかけ>

○世間で、安全・安心の関心が高まる中で、自信をもって農産物を消費者へ届けるためには、**有機JAS以外にも、明確な基準を持つ認証が必要**であると思った。



## 【ASIAGAP取得のきっかけ】

○海外への販路拡大も視野に入れていたため、GFSI承認の国際規格であるASIAG.A.Pを取得した。  
**ASIAGAP認証取得 ⇒ 2020年4月**  
 ※GFSIとは、グローバルに展開する小売業者・食品製造業者等が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け発足した組織

## <GAP認証取得（更新）で苦労したこと>

- 申請の書類作成が大変。
- 認証（更新）に関する審査費用が高額。

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 「安全・安心ナンバーワン」の農家を目指しており、GAPの認証取得は、**目標達成のための明確な基準**となった。
- 従業員の意識改革により、**農作業事故の未然防止**や、**作業効率向上**に繋がった。



## <今後の意向>

これまで以上に「食の安全・安心」を消費者に届けていきたい。  
 ※令和3年6月に「有機米農家 おにぎり宮本」を開店。



## <問合せ先>

TEL 0983-33-3450  
<https://www.organicfarmzero.com>

👉 **GAPの取組**  
**(団体認証)**

# (有) 熊田製茶

ASIAGAP

茶

## <基本情報>

所在地：鹿児島県薩摩郡さつま町求名9551

経営：熊田製茶：農業女子プロジェクトメンバーの熊田明日香さんご両親の3人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園703a

(祖父の代の昭和45年から茶の生産開始、平成14年から有機栽培)

美香園：さつま町・薩摩川内市の若手茶業者の「薩摩さみどり会」の

熊田淳人さん夫婦ご両親の4人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園580a

**(有) 熊田製茶は熊田製茶と美香園の共同経営の製茶工場である。**



## <GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望と海外へ目を向けた時に必要だと感じた。

平成14年から有機JAS認定

→平成30年2月ASIAGAP茶 Ver.1 1団体認証取得

→令和元年2月 ASIAGAP茶 Ver.2. 2団体認証取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

○従来から有機JASとISOを取得していたため、様々な様式の作成はかなり楽だったが、農場2件での団体取得のため、準備が大変でした。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

☆自分達の中で意識付けができるようになったことが一番です。

☆茶商からの売り先に合わせたリクエストに対応できる体制ができたこと。



問合せ先：電話・FAX：熊田製茶：0996-57-0875

美香園：0996-57-0355

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

## 有限会社 松田農場

**JGAP**

きんかん

### <基本情報>

農場所在地 鹿児島県 薩摩川内市祁答院町藺牟田1133番地

農場概要 きんかん ハウス1.1ha 路地0.2ha

### 経営理念

「**食品安全 環境保全 労働安全 人権福祉**」に配慮した  
農場運営にあたる



当社ではいち早くJGAP認証を取得し、安全・安心で美味しいきんかんの生産・販売を行っています。生で美味しく食べられるきんかんを是非ご賞味下さい。

### <GAPの取得のきっかけ>

「**安全栽培の担保を確実にしたかった。**」

2013年11月にJGAP青果物を初取得。

現在、**JGAP青果物2016**を継続取得中。

### <GAP認証取得で苦労したこと>

1. 栽培以外の環境整備（資本投資）が必要だった。  
⇒ 農薬 肥料 機械 などの倉庫、休憩室、  
トイレ 駐車場
2. 全員で勉強会を行う時間を、多く費やさなければならなかった。



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

1. **チェック項目に従うことで、頭が整理された。**
2. **農場運営に緊張感が生まれた。**
3. **GAPには、減農薬の目標値などはないが、社内目標値を決めることで、減農薬栽培ができていった。**
4. **年 月 週の計画会議を行い論議することで 社内の共通認識を持てた。**

【問合せ先】 TEL : 0996-56-0426 Fax: 0996-56-0545  
HP : <https://www.mazdafarm.jp/index.html> ネット販売有り

# 👉 G A Pの取組 株式会社 ローソンファーム鹿児島

～ 環境に配慮し、地域に根ざした安心・安全な農業を实践 ～

JGAP

だいこん、にんじん、かんしょ

## <基本情報>

所在地：鹿児島県肝属郡東串良町

設立：2011年4月

構成員：役員2名、社員1名、外国人実習生7名

資本金：500万円

## <経営概況>

栽培面積：だいこん6ha、にんじん2ha、かんしょ1ha・・・GAP認証作物  
キャベツ4ha、ごぼう2ha、(水稲栽培も検討中)

## <経営の理念>

株式会社ローソンファーム鹿児島は、**安心・安全な食の供給者として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。**



ローソンファーム鹿児島の片平代表

## <(株)ローソンファームにおけるGAP取組みの考え方>

1. 消費者の皆様へ安心・安全な生鮮品を食べて頂きたい。
2. ローソングループでは、自社農場で安心・安全な青果物の生産を行っていることを消費者にアピールしたい。
3. 農業の産業化を行い、地域雇用を発生させ、地方創生を行いたい。  
上記を实践するためには、労働環境を整え、働きやすい職場にする必要があることから、

2014年11月、ローソンファーム社長会にて、JGAPが日本の農業に最も適した生産工程管理と位置づけ、ローソンファームでのJGAP導入を決定!!

(株)ローソンファーム鹿児島は、2016年8月、JGAP認証を取得

## <GAP取得で苦労したこと>

- 圃場が点在しているため、紙ベースでは作業記録の管理が煩雑。このため、市販の栽培管理ソフトを活用し対応
- 従業員への周知
  - ・収穫から出荷までのルールを事務室に掲示
  - ・作業前や作業時に、その日作業する圃場の危険ポイントを伝達

## <GAPの効果>

- 従業員が安心して働ける環境整備 ➡ 従業員の事故ゼロ
- 農薬の飛散防止を徹底
- 異物の混入防止を徹底
- 農薬等資材の適切な在庫管理 ➡ コストの削減

## - (株)ローソンファーム鹿児島の目標 -

(株)ローソンファーム鹿児島は、JGAPを導入し、良い農業の実現を宣言します。

- ① 安全で、安心な、農作物を消費者にお届けします。
- ② 環境に配慮した農業を心がけ、地域と調和した事業を推進します。
- ③ 効率的な農業生産を行い、原価低減に努めます。
- ④ 従業員の安全と福祉に気を配った農業を推進します。



## (株)ローソンファーム鹿児島の4S活動

整理・不要なものは捨てる  
 整頓・必要な物の整理分類  
 清掃・身近なところをきれいに清掃し、「見える」ようにすること  
 清潔・清掃することできれいな状態を保ち、「汚れ」ないようにする

➡ **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 農事組合法人 菊永茶生産組合

A S I A G A P

JGAP

茶

## <基本情報>

設立日：昭和47年11月22日

所在地：南九州市知覧町塩屋23649

組合員数：35名 (平均年齢51歳)

茶園面積：161ha

品質目標：

1. 私たちはニーズに合った安心・安全でクリーンなお茶を作ります。
2. 私たちはおいしいお茶をつくるために仕事の仕組みを継続的に改善します。
3. 私たちは食品を作っていることを自覚し、環境に配慮したお茶を作ります。
4. 私たちは「生産性の向上」「組合員の生活の向上」「組織体制の強化」に取り組みます。



安心安全で  
クリーンな知覧茶

## <GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 食に対する意識改革の声
- ◆ 消費者の声に近づく必要性
- ◆ 取引先からの要望



2008年11月 ISO9001取得  
2009年3月 JGAP取得  
2016年11月 ASIAGAP

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆ 取得準備段階

- ・ GAPの必要性を理解してもらうための教育
- ・ 組合員から一人の脱落者も出さない取り組み  
パソコン研修、個別指導、農場が記入しやすい帳票作り等
- ・ イラストを入れたわかりやすいマニュアルの作成

### ◆ 取得後

- ・ GAPのスキルアップ  
取引先による監査の実施・指導  
不適合の水平展開や情報の共有化
- ・ 若手内部検査員の育成  
HACCP, 食品衛生講習会参加



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆ 取引先の確固たる信頼確保

- ・ 相対取引量が増加 (24% ➡ 73%) し、新規顧客も増えた

### ◆ 組合員の意識変化

- ・ 「ヒヤリハット」による改善提案で、労働災害を出さない意識が高くなった
- ・ 「衛生教育」の実施により、食品を扱っている意識が高くなった
- ・ 作業ごとの責任者を明確にすることで、組織の強化が図れた

### ◆ 輸出への取り組み

- ・ H25年から各国の基準に合わせた農薬試験を行い、農薬体系を確立した (令和元年 米国や台湾向け92t)

連絡先： (0993) 85-3271  
HP <http://kikunaga-cha.com/>



徹底した品質管理  
(菊永茶生産組合HPより)

## 👉 GAPの取組 (個別認証)

だ い き ち

# 大 吉 農 園

A S I A G A P

キャベツ、枝豆、ケール、プチヴェール、  
ビーツ、ズッキーニ、玉ネギ、トレビス

### <基本情報>

所在地：鹿児島県指宿市

構成員17名：ご夫婦2名+パート15名（キャベツ班6名、ケール班5名、枝豆班4名）

栽培面積：37.3ha（キャベツ25ha、枝豆8ha、ケール3.8ha、プチヴェール0.5ha）

【経営理念】「消費者目線にたち、我が子に喜ばれる野菜づくり」



私たち  
はキャ  
ベツ班  
です。

### <GAPの取得のきっかけ>

- ◆農産物のブランディング
- ◆知名度の向上
- ◆輸出先からのニーズ



2016年2月 JGAP取得  
日本能率協会によるJGAP認証第1号  
2020年2月 ASIAGAP取得予定

### <GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆生産履歴の管理
  - ・何時、誰が、何をしたか日報に記帳
  - ・作業日報をエクセルでデータ化
- ◆労働環境の整備（ハード面の設置にかかる導入経費）
  - ・農薬保管庫、休憩室、トイレ（屋外、作業場）の増設等
- ◆リスク評価（食品安全、農作業安全等）
  - ・全員でリスクと対策を検討し、情報を共有化

例：借地で初めて作業するほ場の場合は  
どこがどう危険か、みんなでリスト  
を作成し、チェック  
・トラクターの転落事故危険箇所など



みんなでチェック

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆取引先が増えた（販路拡大：2社→10社）
- ◆整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減
  - ・整理整頓（5S）により、作業場が整理され、**作業効率がアップ**
  - ・農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出が減少**
  - ・作業前点検と作業後のメンテナンスで**機械トラブル減少**
- ◆従業員の意識の変化
  - ・従業員自らが働く中で問題点に気付くようになり、**事故防止に役立つ**
- ◆労働環境の整備
  - ・労災加入による**雇用環境の改善**



作業後のメンテナンス



整理整頓

【お問合せ先】TEL：080-6433-6860  
E-mail daikichifarm@gmail.com

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# 有限会社 ハラダ製茶農園

GLOBALG.A.P.

ASIAGAP

茶

## <基本情報>

所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2457-43

社員10名

## <農場概要>

茶園35.4ha（平成30年10月現在）（やぶきた31%, さえみどり29%, ゆたかみどり16%, あさつゆ9%他 全11品種栽培）

## <ハラダ製茶のこだわり>

「創業100年を超えて、美味しさを安全に、という品質と日本の「お茶」の新たな可能性を求めて。」



## <GAPの取得のきっかけ>

食品工場で実践してきた生産管理手法(GMP)を茶栽培の工程から活用し、取引先からの一層の信頼を得たいという思いからGAPに取組んだ。

平成20年日本の緑茶業界で初のGLOBALG.A.P.とJGAPの認証を取得。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

■GLOBALG.A.P.しか規格がない状況で、取組みをスタートする。  
このため、GLOBALG.A.P.独特の要求体系への理解に苦労する。

例えば…

- ◎ 海外の農業体系（経営者と作業員がいる大規模経営）を想定した規格になっている
- ◎ 英語から日本語に翻訳されるなかで、規格の本質がわかりにくくなっている
- ◎ IPM (Integrated Pest Management) やPPP (Plant Protection Products) などの聞きなれない言葉が多い
- ◎ 海外では“茶”といえば“紅茶”が主流で、紅茶の製造をベースにした規格内容になっている
- ◎ ISO、FSSC22000とは異なり、一般原則（GR）やAnnexといった関連文書の比重が大きく、これらの理解も必要である

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆自らの仕事に対する自信

生産工程を整理、管理することによって、間違いがない作業ができる、間違えていれば修正することが確実にできる。

### ◆リスク管理への理解 (リスク=発生頻度×重篤性)

リスクの定義が明確となり、生産工程でリスク管理をするという見方が広まった。その結果、食品安全・作業効率の向上に繋がった。

### ◆法規法令の遵守

農業に必要な法令を見直し、整理することでこれまで以上に地域社会との繋がりが深まった。例えば、水の採取届、労働安全講習、燃料の取り扱いなど。



【お問合せ先】 TEL:0997-46-2369 Fax:0997-46-4035

HP <http://www.harada-tea.co.jp/>

👉 **G A Pの取組**  
(個別認証)

# 株式会社 皆村農園

**GLOBALG.A.P.**

ばれいしょ

## <基本情報>

所在地：鹿児島県大島郡和泊町（沖永良部島）

構成員：常時4名，臨時雇用40名/年

## <農園概要>

栽培面積：ばれいしょ20ha（ばれいしょ専作）



## <G A Pの取得状況>

平成26年3月 GLOBALG.A.P.認証取得

平成28年12月 K-GAP認証取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

### ◆従業員の意識改革

- ・毎朝のミーティングと定期的な教育

### ◆労働環境の整備

- ・作物保管庫，農薬保管庫，トイレの増設
- ・選果場等の定期的な清掃とその記録

### ◆リスク評価

- ・リスク評価の作成と定期的な見直し

### ◆生産履歴の管理（作業者，天候，作業内容，使用資材，使用機械等）

- ・退勤時に作業者による作業記録の記入，作業記録のデータ化



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

### ◆取引先の増加（3社→6社）

◆共販から個販になり，品質向上への意欲が高まった。また，契約することで価格が安定した。

◆教育訓練を行うことで，従業員の意識が変わり，より安全に気を付け，情報交換が増え，作業効率が上がった。

◆農薬や肥料の在庫管理で，無駄な支出が減少した。

◆整理整頓により作業効率が上がった。

◆生産履歴を詳細に記録することで，圃場ごとの生産性が把握でき，不作地への対応ができ，秀品率が上がった。

H P <http://www.minamuranouen.net/index.html>

（ネット注文もできます！）

TEL & FAX : 0997-92-1211、担当 : 090-9656-8903

## 👉 GAPの取組 (団体認証)

## J A種子屋久

## 西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会

JGAP

かんしょ

### <基本情報>

所在地：鹿児島県西之表市

構成員：7経営体

- GAP認証品目：かんしょ（安納紅、安納こがね、種子島ゴールド）
- GAP認証品目の栽培面積 28ヘクタール

### 【経営理念】

- 常に「食品安全、環境保全、労働安全、人権福祉」に配慮しよう！



### <GAPの取得のきっかけ>

- 取引先の要望
- 販売面での付加価値



平成30年9月  
JGAP取得

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆ 部会内の合意形成

- 部会員214名の平均年齢は65歳以上と高齢化のためJGAPは「難しい」等のイメージがあり、部会役員を中心に認証を取得

#### ◆ リスク評価への理解

- 自ら考えるべきものであり、理解に苦労

#### ◆ 団体事務局の負担

- 記帳様式等、必要な書類について定められたものがなく作成に苦労



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ■ 生産者意識の変化

- 認証を取得したことへの自信
- 生産する農産物への自信

#### ■ 整理整頓による作業の効率化

- 整理整頓が徹底され、農作業準備及び後片付け等の時間短縮により作業効率が向上

#### ■ 差別化販売

- 取引先からのニーズが通常商品より高い
- 販売先で栽培履歴シールを貼付され、差別化販売されている



### <今後の課題>

GAPに取組むベースはできたことから、今後はスナップエンドウに取組を拡げたい。

## 👉 G A Pの取組 (個別認証)

# 有限会社大崎農園

GLOBAL G.A.P.

葉ねぎ、大根、  
キャベツ 他

### <基本情報>

所在地：鹿児島県曾於郡大崎町

構成員：役員3名・社員40名

- GAP認証品目：葉ねぎ・大根・キャベツ他
- 栽培面積 130ヘクタール（2018年度作付延べ面積）
- 露地栽培+葉ねぎ施設の複合経営

### 【経営理念】

- 原点はモノづくり。安全な土壌を育て、感動する美味しさを求める



3名で脱サラ新規就農 → 法人設立平成14年



### <G A Pの取得のきっかけ>

取引先の要望

平成26年5月  
GLOBAL.GAP.取得

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆ 農場でのリスク評価を検討・対策をとること

- 農業生産における圃場リスク評価し事後の防止
- 全社員にG A Pを共有すること（気づき）
- 記録を整備し保管し、データを活用すること

#### ◆ 環境整備

- 農場や選果場における基準適合
- 水洗トイレや手洗い所の整備
- 社内アンケートを実施し改善する
- 整理・整頓（5S活動の推進）
- 出荷加工センターの環境整備



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ■ 認証取得の苦労をプラスにとらえる！

- 作成書類が多い→**毎年の蓄積を生かし活用**
- 圃場・環境整備に労力・コストがかかる  
→**仕事の効率・圃場の美化がアップ**
- 審査費用が高い→**リスクを減らす保険料**
- 生産品目の輸出の実現→**アジア地域に販売**
- 毎年更新→**毎年成長できる！**
- 社員全員の意識の向上→**生産性向上・安全的な配慮**

### <今後の展望>

2017年5月からベトナム グラット高原で試験栽培をスタート。アジアに挑戦。

「**玄関を開けてこの広いアジアの  
マーケットに 挑戦!**」



お問合せ先： (0994) 76-4043  
HP [http:// www.oosaki-farm.com/](http://www.oosaki-farm.com/)

👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農業生産法人 (有) 片平農産

JGAP

だいこん

## <基本情報>

所在地：鹿児島県曾於郡大崎町永吉2381-1  
 構成員：30名（役員4名、従業員24名、パート2名）  
 栽培面積：だいこん 35ha

## 【経営理念】

より良い農業、より良い会社経営の維持のため、環境と人に優しい農業を展開し、ただ農業をするだけではなく、地元の雇用拡大や遊休農地解消を通して社会貢献を図る。

「土づくり、ものづくり、人づくり」



## <GAP認証取得のきっかけ>

○鹿児島県版GAP (K-GAP) を13年前から取得していたが、**レベルアップと取引先からの要望**によりJGAP認証取得。

⇒ **令和元年2月 JGAP個別認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 従業員がGAPの取組に対して同じ認識になるまでに時間を要した。
- 適合基準を定着させるための意思統一。
- 作業中のデータ入力及び管理の徹底。
- リスク評価に関する対応策の資料作成。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 審査の受験が、従業員の自発的な学習や意識向上に繋が**り、従業員教育的にも良かった。
- 従業員から、作業上の注意喚起を発するようになり、事故防止、農薬使用、肥料の使用に対する意識改革ができた。
- 販売先との**契約取引が増加**。

## 「今後の意向」

- 輸出**を視野に入れた**販路拡大**。
- ASIAGAPの認証取得**。



## <問合せ先>

TEL : 0994-63-1117

<https://www.katahira-nousan.com/company>

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# 大崎町キャベツ出荷組合



JGAP

キャベツ

## <基本情報>

所在地：鹿児島県曾於郡大崎町永吉2381-1  
従業員：4戸（法人2 + 個人2）  
栽培面積：キャベツ 57.8ha(JGAP認証取得面積)

## 【経営理念】

大崎町キャベツ出荷組合に加入している全ての農場が法令を遵守し、消費者にも従業員にも安全で環境にやさしく、みんなが働きやすい農場を目指し、日々精進する。



## <GAPの取得のきっかけ>

近年の生活スタイルの変化による**食の外部化の発展により、加工・業務用野菜の需要が伸びる情勢に、生産者が一体となることで、そのスケールメリットを活かした、キャベツ産地の維持拡大と生産者の所得向上を目的。**

⇒ **令和元年3月 JGAP団体認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- コンサルを入れずに自分たちで勉強しながら取り組んだため、団体認証の適合基準を理解することに時間を要した。
- 認証取得までの経費。
- リスク評価**では、**項目が多く理解に時間を要した。**



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得を契機に、実需者との**信頼関係が構築**され、安定した契約取引となった。
- 定期的に生産者間の情報交換を行うことで、品質向上や安定生産が図られ、取引先からの**クレームが年々減少**。

## 「今後の意向」

- GAPの普及**を図るため、**大崎町内外の生産者への加入推進**。
- キャベツの品質向上による所得向上。
- 実需者が**ASIAGAP認証取得を求めた際、迅速に対応できる体制を整える**。
- 国内需要が減少した場合でも、経営安定が図られるよう実需者との更なる信頼関係を構築する。

## <問合せ先>

TEL : 0994-63-1117

👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# ヘンタ製茶有限公司

ASIAGAP

茶

## <基本情報>

所在地：鹿児島県霧島市

構成員：従業員12名：周年雇用6名（うち販売事務2名）、臨時雇用7名

栽培面積：25ha

### 【経営理念】

「家族・スタッフと共に力を合わせ、一人でも多くの方に親しまれるお茶屋でありたい」



## <GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 自社商品の販売額増加
  - ◆ 取引先からの要望
- 2016年10月 JGAP取得  
2018年10月 ASIAGAP取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- ・ 栽培～出荷までの各工程のリスク評価
- ・ 従業員への周知  
(農場、工場での衛生面や安全面に対するルール作りに苦労した。飲食場所、休憩場所の確保など。)
- ・ 農場、工場、倉庫などの整理整頓
- ・ 製造工程で使用する資材等の安全性や規格を把握すること。

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ・ 異物混入や衛生面に対する意識が変わった。
- ・ 資材の在庫管理によって無駄が少なくなった。
- ・ 労務管理など雇用環境の改善ができた。
- ・ 生産性の向上
- ・ 有機JAS認証と合わせ、販売面での信頼が向上した。
- ・ リスク評価をすることによって、何をすべきか何が必要か、安全・安心に対する意識が改善された。

## <今後の展望>

- ・ 現在、米国、フランス、香港、ドバイに有機抹茶と有機煎茶を輸出している。今後さらに、輸出量を増加したい。



お問い合わせ先：(0995) 77-2777  
HP <http://www.henta.jp/>

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# JAきもつきミニトマト部会

JGAP

ミニトマト

## <基本情報>

所在地：鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北1729

構成員：3戸（法人2、個人1）

栽培面積：1.7ha

## 【経営理念】

環境制御技術を導入し、ハウスの温度や湿度、日照や二酸化炭素などを管理するとともに、土壌に太陽熱を利用した消毒を施すことで、消毒液を使わない安全性の高い栽培に取り組んでいる。

味にこだわった、美味しいミニトマトの生産。



## <GAP認証取得のきっかけ>

○鹿児島県版GAPを部会として平成19年から取組。

○販売先の7割は関東圏であり、**県版GAP認証だけでは他産地との競争力が弱いと感じた。**

○今後とも**販売価格を維持**したい。

**JGAP認証取得 ⇒ 令和2年1月**



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○**JGAP認証取得により**、構成員の意識改革に繋がり、ミニトマトの生産に対する**プライドが芽生えた。**

○取引先へのブランディングによる差別化。

## 「今後の意向」

○現在、契約販売が98%を占めているが、**更に輸出を含めた契約取引量を増やし、栽培面積を拡大**したい。

○**ホームページによる直売や輸出**を目指した販路拡大により、**ASIAGAP認証取得**を検討。



## <GAP認証取得で苦労したこと>

○**リスク管理**として、**重油の防油堤設置**が必要となり、経費が高んだ。

○鹿児島県GAPに取り組んでいたこともあり、生産工程管理は当たり前のことという認識で取り組めた。



問合せ先

TEL：0994-24-3131

